愛國婦人

創刊明治卅五年三月廿七日●明治卅五年三月廿七日第三種郵便物認可●毎月二回（五日廿日）發行●電話番町千七百四十五番●同五百廿番●遞送無料●振替貯金口座壹壹弐八二番

●定價一部三錢五厘●半年分金四十二錢●一年分金八十四錢●廣告料一行金六十錢●發行所東京麴町區牛ヶ淵公園內愛國婦人發行所●發行兼印刷人山澤俊夫●編輯者竹內貞三

明治四十三年五月五日發行　May. 5th. 1910.

事情の疏通

事情の疏通は萬端に必要であつて苟も疏通が缺げると或は誤解が起つたり或は疑心暗鬼を生じ易いものである。愛國婦人會の如き公然たる團體の爲しつゝある事は何れの地方にも事情が疏通せられてゐないとはなからうと思ふ。

併し又此會の事を知らない局外者から見たならば種々の想像も起るであらうし、又過去に於て實際起されたことは鮮くなかつたのである。

元來此會は戰死者準戰死者の遺族及廢兵の救護を目的として起つたのであるから、其の精神に於て愛國的たることは言ふまでもない。男子が祖國の爲に戰場に赴いて、忠勇無双の働きをしてゐるのに、女子が安閑と手を拱ぬいて居られようか、戰爭こそは出來ないが全力を後援に盡さうと云ふ一種の憤發心が遂に此會を生むの母となつたのである。

この熱烈なる愛國的の精神は、古來日本人の享け傳へて來た魂であつて、誰も不可とする人はないであらう。否愛國婦人會を設けたる精神は誰も感動することであらうと思ふのである。

又其の事業たる、戰死者準戰死者の遺族、及び廢兵の、救護授産といふことも、之を惡いといつて否定する人は、どこにあらうか、斯かる慈善的、義侠的の事業が、起ると起らざるとは、實に其の民族の文明の程度を表明するに足る位の價値あるもので、どこから見ても、此事業の惡るから筈がない。

特に遺族や廢兵の、直接この事業の恩澤に浴してゐる人から見たならば、たとへ其父又は其身が、國家の爲に盡した報ひとはいひながら、さぞや感じて居らることであらう。唯この恩澤に浴するに至らずして、而もかゝる愛國的の事をしてゐるのであることを知らない人には、或は愛國婦人會は何をしてゐるかなどの疑を、起されぬとも限られない。

實際身其の衝に當つて、救護金を遺族や廢兵に分配する人々は之を受くる遺族や廢兵と同じく、婦人會の事業に深き感動を有して居らるゝことゝ思ふ。併し會の側からいはゞ、此事業は、多くの人目を眩せしむるやうな、花々しいものでなく、どつちかといふとぢみな、遺り方といはざるを得ない。されど此ぢみな遺り方が、結局受ける方にはよく行きわたり、又都合がよい樣なのである、昨年度の決算報告によれば、此救護に用ひたる金額、ざつと九萬圓に上つてゐる。

婦人會は、又昨年から、右遺族等の小供を引きうけて、之を一人前に育てあげ、親を養ひ得る程の者に仕上げる事業を始めた、是れ即ち教養所のある所以で、どこ迄も國家的で、又慈善的である。昨年度の決算報告によると、この爲に費やしたる金額は約九千圓である。

婦人會は、其の內部の費用には極めて節約をして、其の事業は成るべく之を擴張せんことを圖つてゐる。夫れ故、將來とても、務めて文明的に、又及ぶべくんば、世のあらゆる憐れむべき者を、其の慈善の翼の內に溫めてやることに、力を竭さむと畫策しつゝある位なのである。

地方の會員中、年々の會計報告を見るに至らずして、どうなつてゐるかと思はるゝ人もあるかと思ふ。會計報告は、本紙附錄に必ず掲載せられるのであるから、是を見られた人々は、安心せられることであらう。併し中には、見ない人々もあるであらうから、一般に、大體の〆高なりとも、お送り致したいのは山々であらうが、何分にも、約八十萬の會員で、之に要する經費は一方でない。こんな金が出るのなら、成るべく憐れな愛國者を救つてあげたいと思ふから、つひ此事業費の方に向られるのであるが、おひ〳〵基礎が固まつて來たら、會員へも滿足を與へ得る方法を取るに至らむことを望んでゐる。

又會員募集の方法についても、折々意見を聞くことであるが、是は地方によつて、事情も異るであらうからとて、一に地方の支部の御盡力に任せてあるので、別に本部から命令めきたることはしないのである。そこで會計の如きも、支部々々で預つてゐることになつてゐる。併し本會は、成るべく虛心坦懷、他の忠告には耳を傾けられる事と思ふから、眞に邦家の爲に、此會に同情をもたるゝ方々は、助言助力を賜はりたいものである。猶又本部の會計決算の委細は、本紙附錄について點檢せられむことを望むのである。

本號主要目次

▲皇后陛下御尊影（寫眞版）
▲事情の疏通
▲女性的大和魂の權化……公爵　二條基弘
▲愛國婦人會教養所の趣味（五）……文學博士　幣原垣
▲婦人と流行……三輪田高等女學校敎頭　三輪田元道
▲交際上に於ける注意の二三……山脇高等女學校長　山脇房子
▲私の園藝と旅行……目賀田男爵夫人
▲懷かしき思ひ出……三谷民子
▲心臟の話……醫學博士　二木謙二
▲家庭叢談（二）……三千子
▲季節料理
▲講談勝田新左衛門（四）……大島光利
其他懸賞和歌、俳句、日誌等及附錄本會記事二頁
外ニ特別附錄

◉本號附錄共　二十ページ

女性的大和魂の權化（上）

愛國婦人會の建立

愛國婦人會顧問　公爵　二條基弘

吾愛國婦人會は、一世の女傑故奥村五百子刀自の首唱に成り、而して今日の隆運を致せるもの、如何に日露戰爭の刺擊ありたりとは云へ、他に深く源因する處なかるべからず。

見渡せば今日此頃我が日本の彌生の春、峯にも尾にも、野にも丘にも、霞か雲かと疑はるゝ、其物も、近けば是爛漫たる櫻花、色鮮かに咲き亂るゝ如く、吾が婦人會も之が淵源を究むれば、亦春の花野の霞か雲かの遼邈なる裡より尋ね出さゞるべからず。實に我愛國婦人會は三十年のこの方、澪標の如くに一貫して流れ來れる女性的日本魂が、時代の要望に應じて發露したる國家的慈善事業なり。但草莽の一刀自が時代の要求に叫びし至誠の響はとどきて上はやんごとなき雲井の御方より下は雞犬の里、梅花の村に至るまで全國の同胞姉妹は翕然として之に歸するの傾きありき。

恭しく惟るに、畏くも皇祖皇宗國を肇め給ふこと宏遠に、德を樹て給ふこと深厚なりしにより宇宙の正氣は鍾りて東海の濱に磅礴し、秀でては芙蓉の峯となり湛へては琵琶の水となる悠久なる上下三千年の歷史は、陸離たる光彩を放ち、獨り秀美を宇内に擅にして、永く大和民族の特性を發揮せり、萬邦儔なき國體の美文華の精、由りて來る所のもの豈に偶然ならんや。

吾が立國の宏謨は、國民皆之れ兵にして、主上躬ら六軍を統べさせ給ひ、兵馬の大權は敢て之を臣僚に委ね給はず、中世に及んで、政權一たび武門に歸せしも、王政再び古に復りて、國光中外に輝き、國威は八宏に震ふ、吾人は史を誦して、祖先の遺烈を敬慕する毎に、猛氣躍躍王業を翼賛して水火を辭せざりし男性的大和魂が亦其の一面に於て貞烈優義なる女性的武士道の後援に待つ所のもの多かりしを思はずんばあらず、皇祖天照大御神の御事は之れを記すも畏し、神功皇后が巾幗の御身を以て三韓征討の師を統べさせ玉ひたるは申すも更なり、良人を扶け兒を勵まして貞烈千古に香ばしき正成夫人あり、馬上敵師を斬りて主君に報ゐたる巴御前あり、亦た近くは維新の鴻業を暗賛したる望東尼等の如き諸烈婦あり、其の他數へ來れば枚擧に遑あらず何れか女性的大和魂の發露にあらざらんや、靜止的日本婦人は常に温良、優雅、貞淑、從順を旨とし、美德とすれども、他の半面に於ける日本婦人は至誠氣力に富み忠孝仁義に敦きは、雄辯なる事實が證明する所なり。

乃ち知る時代の要望に應じて起れる吾が愛國婦人會は實に此の忠烈、貞美なる吾**祖先の流芳餘韻が大和民族の特性として發揮せられたる所謂女性的大和魂の權化**にあらずして何ぞ。

彼望東尼は歌へり。

神のかたみの大和魂
たがみにもありとは知らでまとふめり

蓋し愛國婦人會創立の刺戟は、去る明治三十三年に於ける北清事變也。渠義和團が北清一帶の地に横行して、宣教師を殺し、獨乙公使を要擊し、或は我杉山書記生を慘殺する等暴虐至らざるなく、遂に列國の軍艦は太沽を砲擊し、各國聯合の軍隊は天津に進めり、而して日本軍が勇敢無比にして軍律最も嚴肅克く艱苦と闘ふの報導を聞き、且つ北清地方の慘狀を耳にし、又曩に日清戰役に於て戰禍の悲慘を味ひ、私に同情の熱涙を灑ぎし刀自は、乃ち急遽上京し、舊藩主小笠原子爵を煩はして種々交渉を經し後、遂に東本願寺は軍隊慰問使として連枝瑩相並に南條博士等の一行を遠く戰地に派遣するに決し、刀自亦輕裝して隨ひ行けり。

斯くて船の太沽に入るや、刀自は砲壘を仰ぎては幾多の猛將勇卒が彈雨を浴びて忠死を遂げたる幽魂を吊し無限の感慨に咽び、**更に我兵勇が糧道杜絶の爲め生藜**を嚙みて勇進せる苦辛を聞くに及び、感激の熱涙禁ずる能はず、他日愛國婦人會を設立して、軍人遺族の救護に任せんとの念願は女史の心頭に閃きぬ。其通州に入りて多數無辜の婦女子が、戰禍の爲めに被りたる酸鼻の狀を目睹し、決心の臍を固め、進んで北京に入り、戰病死者の忠魂を追吊し、在留將士と救護上の意見を交換し、歸途仁川と釜山とに立寄り、茲に始めて國家的慈善事業の精神を叫破せり、是實に愛國婦人會創立の初聲なりとす。

斯くして刀自は、明治三十四年一月入京、小笠原子爵、近衞公爵其他、閑院宮殿下東伏見宮殿下方の御援助の下に直に本會創設の運動に着手し、日ならず發起人會を開き會名を定め、趣意書、規則書等を議決し、之を天下に告白して大に多數の同情を鍾め、遂に今日の大成功を見るに至れり。

此圖は本紙二百號記念の爲め岡部會長の揮毫致されたのであります

嗚呼愛國婦人會は實に我國民性の自然に發揮團結せるものにして、日清、日露等の戰役が、特に女傑奥村の口に依り之が必要を絶叫せしめたるに過ぎざりき本會建設後殆ど十年なるも、之を本會の性質上より觀じ來れば實に只生存の一分時を過せしものにして唯漸く獨立獨歩、自己の天職を自覺し、其使命を盡すの域に進まんとせるなり、將來に向て益々邁進奮勵、自我存在の意義を明かにせざるべからず、無事の日に於て有事の準備をなさゞるべからず、且貴婦人方の同情心の如何に軍隊を勇猛精英になすべきやは明白の事實なり、曾て獨逸のフリドリヒ維廉殿下が戰後其國民を奬勵せられたる中に『我獨逸國民の威武と光榮とを中外に宣揚し、以て我國家大業の基を鞏めたるは、出征軍隊の百難を冐し、萬死を顧みず、幾千萬武夫の生血を以て克く光輝ある戰捷を得たるに由る、故に是等忠死を遂げたるもの、並に忠死者の遺族たるべきものに向つては我國民は宜しく深き敬意と熱誠なる感謝とを表すべきの義務あり、偏に國運の隆興、民力の增大に由り、將來光榮ある治平を致さん事を希ふ者は、努めて各其忠愛の精神を我軍人、軍族に對し、大に表示する所あらん事を』と。

嗚呼女性的武士道、平和時代の活動として、此の軍人遺族に永く同情を寄せ、又其遺兒等を愛撫成育せしむる事に盡瘁せんとする如きは、日本婦人の性格として、特に注意すべきものたるを信ずるなり。過日廣島灣に於て起りたる悲慘なる沈沒に於て艇長佐久間大尉が死地に陷りて其生命の分秒に奪はれつゝあるに係らず、尙横死者をして窮途に泣かしめざらん事に至誠を捧げて、莊嚴なる最後を遂げたるが如きに思ひ及ばゞ、平時軍人に對する強き同情心の必要なる思ひ半に過ぐるものあらん。

されば我國家と其運命を同ふすべき本會は、益々其天職の至大至重なるものあるを自覺し、本會をして、永遠不滅のものたらしむる事に、熱誠努力せざるべからず、是れ偶々奥村女史の大念願にして我女性的武士道の精神なり。

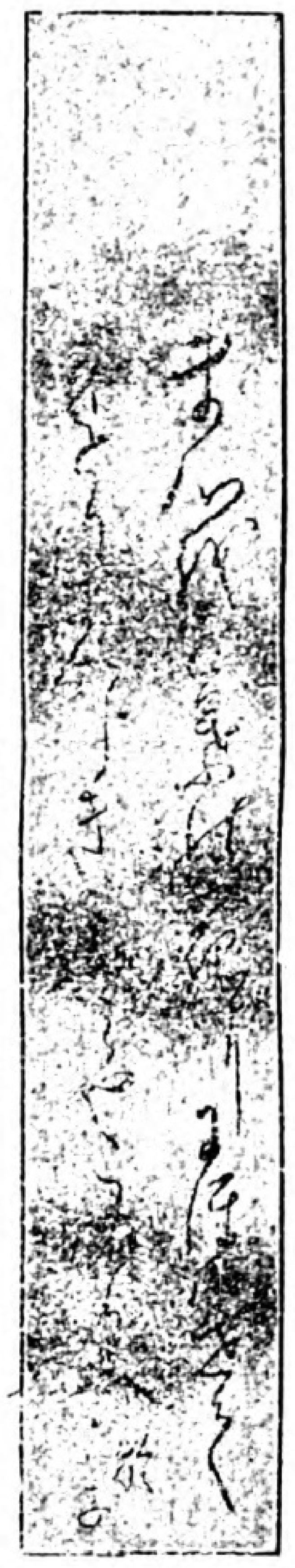
Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

祝詞

愛國婦人號を重ぬること二百に及び其の盛況は日に月にます〳〵加はらんとす

(京都支部長　大森鈴子)

祝歌



まことに喜ばしき極みにこそなほしも此の記載文は愛國婦人會の機關紙なれば譬へば愛國婦人會は形にして愛國婦人は影の如しかるがゆゑに此の文の長へに榮えんことは幾萬づの會員の諸聲に唱ふる望なるべくそはまた本會の隆盛を祈る叫び

(理事　三輪田眞佐子)

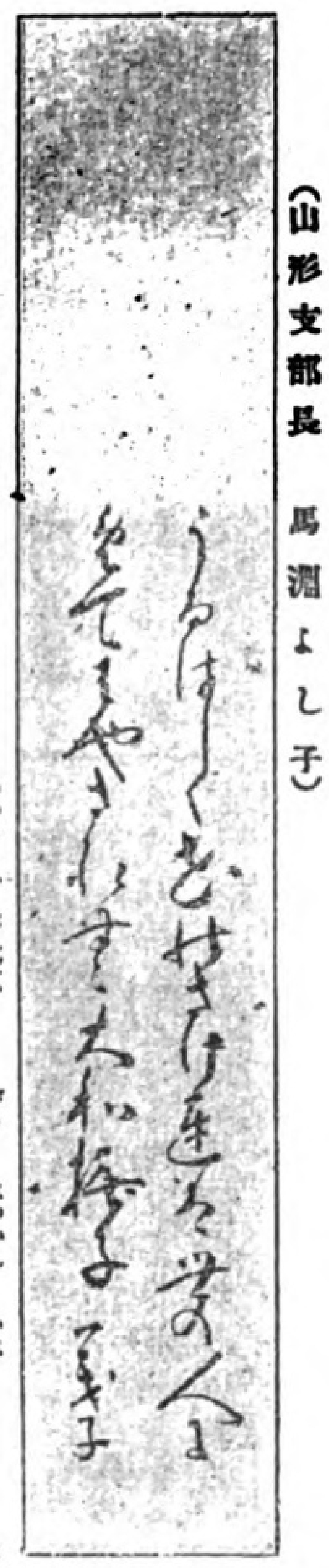
祝歌

聲になむある希は榮えに榮えよ愛國婦人

愛國婦人會函館支部長　手塚トマ子

愛國婦人ノ本會ニ對スル恰モ主婦ノ家庭ニ於ケルガ如ク常ニ事業ノ擴張ヲ援助シ會員ヲ慰諭奬勵シテ能ク內外ノ調和ヲ計リ又婦德ノ發展向上ヲ促進シ婦人ノ好侶

祝歌



(山形支部長　馬淵よし子)

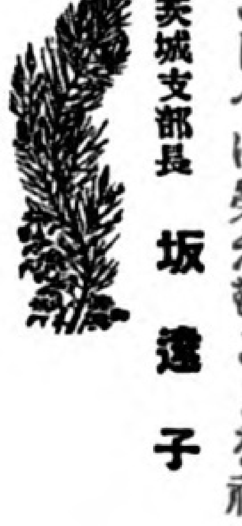
伴トシテ多年力ヲ致シ今ヤ號ヲ重ヌルコト二百回ニ達シ記念號發刊ノ擧アルハ寔ニ喜ブベキコトニシテ蓋シ本會ノ爲メ貢獻セルモノ少カラザリシナルベシ由來家業ノ隆昌ハ家庭ノ調和ヲ第一義トシ家庭ノ調和ハ將ニ主婦タルベキモノ、責務トスベキ所ナレバ希クハ既往ノ經驗ト穩健ナル思想トニ依リテ其ノ本分ヲ盡シ本會ト共ニ益々隆昌ナランコトヲ聊カ所懷ヲ述ベテ祝辭トス

愛國婦人會靜岡支部長　李家實子

生ヲ捨テ難ニ殉スルハ士ノ本分ニシテ素ヨリ期スル所ナルモ身死シテ老年ノ父母ヲ養フモノナク可憐ノ妻子賴ル所ナキヲ見テハ誰レカ一掬同情ノ涙ナカラン愛國婦人ハ本會ノ事業ヲ廣ク世ニ知ラシメントノ主意ニテ發刊セラレタルニ日ニ月ニ隆盛ニ赴キ遂ニ今日二百號ヲ發行セラル、ニ至リタルハ欣喜ニ堪ヘス希クハ爾後益本會ノ旨趣ヲ擴メ事業發展ニ資セラレンコトヲ

愛國婦人會北海道支部長　河島樂子

愛國婦人第二百號の發刊を祝ひなほ千萬の號を重ねとこしへに榮えむことを祈る



愛國婦人會茨城支部長　坂達子

◎愛國婦人會 教養所の趣味 (承前)

愛國婦人會教養所長　文學博士　幣原坦

(五) 教養生の成績

三四月の交は、小學校の學年の換り目である。歳月は流るゝが如く、敎養所に引受けた生徒を、麴町高等小學校と、日比谷尋常小學校とに通はせ始めてから、最早一箇年となつて、卒業する者は卒業し、進級する者は進級する時期となつた。尠なからぬ人の子を預かつて、よきが上にもよかれかしと祈つてゐるが、十人が十人迄思ふ通りになるものでないから中には成績が惡くて困る者もあるまいかと、心窃に心配してゐたのである。發表せられたる成績はどうであらうか。尋常四年を除く外の各學年を通じて、何れも二名づゝの優等生を出だし、其他の者とても、さほど惡い成績の者はないといふことである。是は偏へに、小學校に於ける諸敎師の、懇篤なる指導によつたからで、厚くお禮を申述ぶべきであるが、又一つには、敎養所內の人々が、心を一にして骨を折つてくれたにも因ること、思ふ。何れにしても、當初の心配は無用となつて、一先安心することを得た。

愛國婦人會の本部からは、奬勵の爲に、この優等生へ賞品を與へたいといふことになつて、四月の二日に、馬屋原事務總長から賞品を與へられた。

その上に又、麴町公民會からは、尋常小學卒業生には手帳二冊づゝ、高等小學卒業生には硯一面づゝ贈られたから、是亦四月二日に、敎養生の本部に集まつたのを機として、余より是を傳達した。そして云はざるを得なかつた。「平素、あなたがたをまとめて學校に敎育してもらひ、一方ならざる手かずをかけて、此度首尾よく卒業に至ることを得たので、こちらから幾ら御禮をいつてもよいと思つてゐたのに、豈圖らむ、麴町公民會より、か丶る厚意を忝うするに至つた。畢竟これ、世の同情があなたがたに集つてゐるからであつて、此厚意を空しくしてはならぬことである。又あなた方が、か丶る厚意をうけるやうにして下さる人々の恩をも思ふべきである。彼といひ是といひ、

總て奮發すべき種ならざるはなく、又これによつて、よい人々になつて與れたら、我々の喜びは申すまでもなく、亡き父上への御恩がへしにもなるといふもの。それについて、かうしてもらひ度いと思ふ不自由な事でもあつたなら、伏臟なく寮長まで申上ぐるがよいぞ。」小供等は、うれしいやうな顏をして別れた。其うれしいやうな顏が、我々には更にうれしかつたのである。

之より先き敎養所では、ずつと以前より、小學卒業者の身の振り方について、色々研究もし又議論もした結果、一先づ京北中學校へ入れることゝなつた。さて此學校へ入らうとすれば、いふまでもなく選拔試驗を經なければならぬ。是が又、どんな成績を示すであらうかと心配してゐた。校長の湯本武比古氏には、萬事厚意を忝くしてゐるから、敎養生には仕合せであらうが、幾ら仕合せであるからとて、惡い出來がよい成績となり得るものでない。

三月二十六日二十七日は、其選拔試驗の日であつた。尋常小學卒業生と、高等小學第一學年修了生中六名とは、京北中學校第一學年の選拔試驗をうけさせ、高等一年修了生の優秀なる者四名と、高等小學卒業生とは、大膽にも第二學年の選拔試驗に應せしめたのである。

結果はどうかと、汗を握てゐると、實に豫想外の好成績であつたのには、一同手を打つて喜んだ。即ち、多くの受驗生の中で、敎養所の者は、多く上位を占めて居るのみならず、二學年に於ては第一番、一學年に於ては第二番といふ、好成績を得た者もある位であつた。

かくて幸に、一人の落第者もなく、志願者の全部、京北中學校へ一先づ入れることゝなつて、彌生の三月は、敎養所にも春の喜びの溢るゝ月であつた。花の色はうつらうことがあつても、敎養生の心は弛むことがあつてはならぬ。一時の好成績に滿足せず、永久の好成績を得よとは、已に優等生にもいつておいた言である。勝つて兜の緒を締めるは、古來我國武士の心がけであつた。過去の好成績は、眞に天祐といふべきで、思へば決して誇示するに足りない。寧ろ靜に顧みて、その僥倖であつたのを警しめ、將來更に進んで、一同奮勵すべきのみである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人と流行

三輪田高等女學校教頭 文學士　三輪田元道

頭髪の装飾と謂はず衣服と謂はず、婦人は一般に自己の身邊に屬する品物に對して流行を追ふ傾向がある、否寧ろ萬事に就て流行に支配を受くる傾向があるが其の心理的原因は、婦人の胸中『自我』の精神が男子程に確立せず、頗る薄弱で

はこれが服從柔順等と云ふやうな婦人の美徳を産み出す基であつて、爲めに婦人は男子よりも容易に境遇に應じて其の性格を變じ、如何なる社會にも速に適應して行く事が出來るので、これは婦人として長所でもあり、且又短所かも知れん。

而して此の性格たるや、單に風俗習慣の上にのみ止まらず、學問技藝を修めるにしても多く同一の傾向が現はれる、例へば朋友が琴曲を稽古するから自分も稽古する、朋友があの師匠に學ぶから自分もその師匠に習ふとかのやうに、互に朋友を見て自己を定める事となる。故に往々

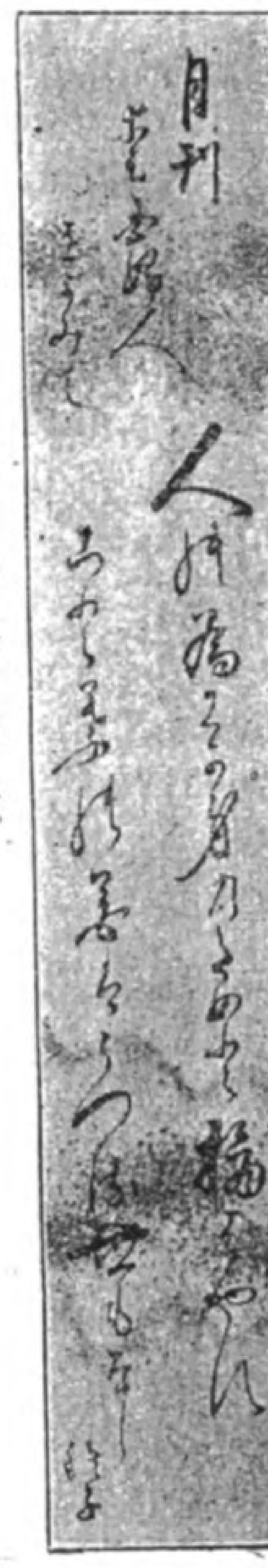
ある事に歸せねばならぬ。故に婦人の行動の多くは、外國の社會状態に由て決せられる。換言すれば自己中心の見識無く、他人を本位として我行動を決するのである。夫れは婦人の境遇が人類開始以來斯くあるべく出來て居る即ち親の生存する間は親に從ひ、夫あるものは夫に頼ると云ふやうに、自己を中心として社會上に獨立獨歩する場合が甚だ稀であるから、遂に全く殆んど遺傳的に斯る性格が出來上つたのであらう。

今これを人格上より見れば如何にも遺憾な事であるが、又一方面より觀察すれ

自らも豫想外の結果を得るらしい。兎も角も現今の婦人界には花一時人一盛、當になるものは少い、故に今後は人格の確立と識見の確定を以て女子敎育の方針とせねばなるまい。

要するに男子は各分業的の生活を爲すから、學問を爲すに就ても社會の經濟狀態に由りて絶對に支配され、服從せしめられるが、婦人には女敎師たる位の外は男子の如く經濟狀態により支配される事がない、その代りに流行によりて支配される事が多いから、婦人界に良き流行を作る必要がある。

祝歌



（兵庫支部長　服部鈴子）

（理事　棚橋絢子）

（廣島支部副長　男爵夫人　上田種子）

交際上に於ける注意の二三

山脇高等女學校長　山脇房子

己れ自ら、失策や不注意の事のみ多く常に赤面して居る次第で、讀者に注意を與ふるなど申す事は、迚も覺束なう御座いますが、是非との事で、氣付いた事柄に就き、二三御話を致しませう。

交際せんとするには、先第一に禮儀、作法、言葉遣ひ、服裝等に注意致さねばなりませぬ。例ば、要向在りて他家を訪問しましても、若し先方が取り込み中で、多忙の樣子であるとか、又は外出仕懸けて居るやうな場合には、自己には如何に不便でも、是非々々面會を求めて、先方に迷惑を懸けるやうな事なく、速に辭し歸るが禮であります。

又客と對話の折に、先方の嗜好等には一切無頓着で、自己に關する事柄に就てのみ談話を向け、自己の趣味ある事にのみ話題を取りますのは、宜しからぬ事であります。又人の噂を爲し、其の缺點を擧ぐる如き事の、最も宜しからぬは、申す迄も無いのでありますが、多人數集會の席上で、其人の迷惑となる事柄や、恥辱しく感ずる事を話し出し、不滿不快の念を起さしむるやうの事が在つては不可ません。或は又、食事中に穢はしい談話を致すとか、其他種々些細な事で、往々他人の感情を害する事がありますから、之等も亦注意すべきであります。

服裝に就ても、一通りの心得が無い時には、慶時服と弔時服とを間違へたり、之と反對に、葬儀の折などに、華美な衣服を着け、寶玉入りの指環を穿めなど致して、心ある人の笑を招く事があります。

此外、訪問する人にも、時刻の事などの如き、種々注意すべき要件が在りますが、訪はるゝ側の方でも、來訪者を玄關先きに長時間待たせる如きは、宜しくない事であります。又、長者を取次もて電話口に呼び出し、長く待たせたり、或は長者には褥なきに、己れ一人褥に座し居るが如き、或は長者は起立せるに、己れ一人椅子に倚りたる儘言葉を交ふる等は甚だしき非禮であります。

又、公會の席の如き、多人數集合の場所に、多く出入致さない人は、場所にも馴れず、知己も尠く、從つて人は澤山に居りながら、二三の知人の間にのみ密々談話を爲るのみで、手持無沙汰でもあり

樂も薄く、自然之れ等の場所に出づるのを嫌ふやうな事になりますが、兎角若い人方は、何る可く自ら進んでかゝる集會に出席し、努めて知人の紹介を得、自ら言葉を低うして、交際を求めて行く事が肝要であります。

亦、かゝる點に注意し、不知の人同志の間に紹介を爲し、進んで若い人を交際場裡に導くやう心懸くべきであります。其席に連る年長者も

話が別に爲りますが、近頃、婚姻の披露や榮轉の祝等に、立食の饗應を爲す事が多くなりましたが、立食は晩餐と異つて、茶菓よりも少しく鄭重な位で人を招くと云ふ、簡單な主意でありまして、豫め人數を定めず、客來に從つて順次に席を設くるのでありますから、己れ一人何時までも座席を占める如きは、宜しくない事で、餘り時間を費らず、後客に席を讓る心得が必要であります。又喰べ殘りの食物を、風呂敷やハンカチーフに包で持ち歸る如きは不作法千萬であります。

又婚姻如き縁起を祝ふ事に關係して、櫻花や紅葉、或は紫や褪紅色などの、散り安いとか褪め安いとか云はれる不縁起の品物を用ゐるのは、古來避くべき事と致してありますが、今も尚心得べき事と存じます。

終りに臨み、贈答品に就き少しく述べますれば、先づ贈るべき品物の注意であります。是れは折箱ばかり大きく、中身には不潔な物や、要に立たぬ物のみ澤山詰めて、鷄卵を少し容れたと云ふやうな物もありますが、斯の如きは一考を要する事で、箱などは美麗でありませんでも、宜しく先方の便宜を見て、品を選ぶは、贈る人の注意せねばならぬ事でありましやう。

此外尚、熨斗の附け方、水引の結び方、包紙の用ゐ方など、未だ〱注意すべき事は種々とありますが、この度は、これ位御話致して置きましやう、（文責在記者）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎私の園藝と旅行

男爵夫人　目賀田逸子

○趣味多い夜の草木

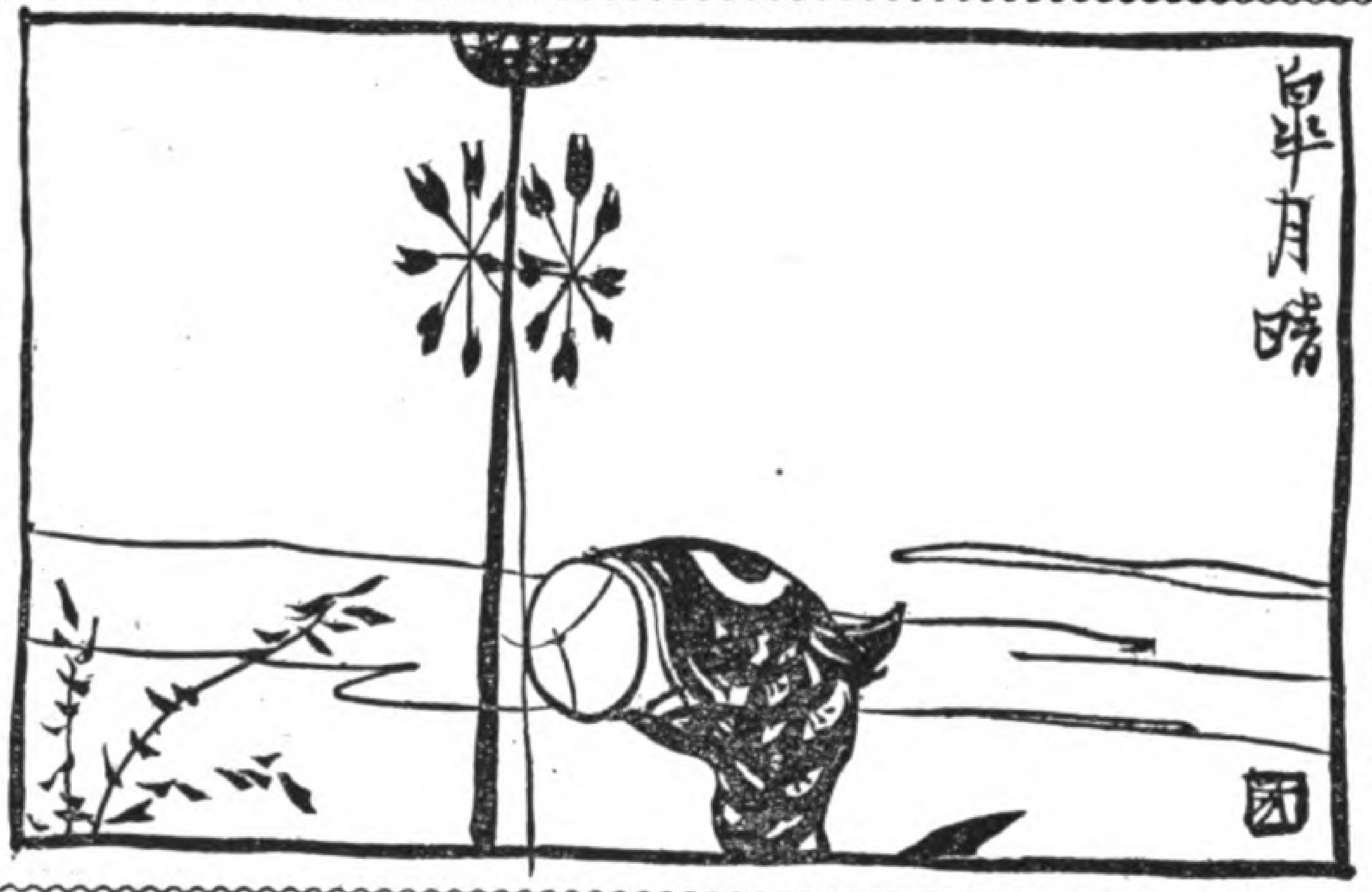
私は昔から接木をしたり、雞を飼つたりすることが好きでした。後園の梅の木などは考へると、もう廿六年前、丁度此屋敷に移ると間もなく、二番目の娘が繪の先生の武村耕靄さんから頂いて歸つた枝を接木したのですが、今では隨分立派な大木となつて、其木からまた枝を分けて大分接木が出來て居ります。庭に並べてある植木鉢などは祿なものもありませぬけれども、實生の松や檜や朝鮮の平壤栗や、リーオフバリーや其他四季折々に旅行先から見付けて持ち歸つたものなどが澤山ですから誠に趣味が多く草を取つたり、水をやつたりして育てるのが何より樂しみで御座います。雜誌や新聞などで余所の夫人方が何れもお上品な事を仰つてる中に、私はいつも土堀りが好きだといふやうな事を申ますので、子供が嫌がりますけれど、それが事實なんですからかまひませむ。

○書物を讀むより草むしり

一體私は靜として書物など讀んで居るより、外に出て草むしりでもする方が余程樂しみなのです。小説を讀んで空想に耽つたりするよりも雞に卵をかへさせたり、花を育てたり、ずん〳〵目に見える仕事をする方が私には面白う御座います。ことに歌などは私のやうなものは思想ばかり先に走つて、詞がそれに伴ひませんから到底駄目と思ひ切つて、つとめて詠んで見やうともいたしませむ。余所の夫人方はよく御本をお讀みになつたり、また歌をお稽古なすつたりいろ〳〵勉强遊しますけれど、私は出來ないものを何もさう强ひて勉强するには及ばない。それよりも好きな事をして愉快に生活し、身體を丈夫にして成丈け長命をし、少しでも人のためになる事をする方が遙にいゝと思つてるのです。

○出來ない事は强ひない主義

で、私は子供達に對しても決して出來ない事を無理にいたさせない主義で御座います。それに女などは學問が出來るといふよりも家の事でもよく出來て、主人から子供達までを面白く生活させ、召使の者をよくつかふ事が出來ればまあ澤山だと私は思つてます。たゞ身體を丈夫にすることは大切ですから、これには十分注意をいたして居ります。とにかく私が斯ういふ風ですから娘達でも余所のお孃樣方とは變つて居りまして、衣服などの事についてはあまり頓着しない方で、却つて花でも見に往かうとか、山へでも登らうとか申ますと大喜で從いて參ります。



○旅行中に注意して見る事

私は御承知の通りよく旅行をいたしますが、美しい景色を見るのは、素より好きで御座いますけれど、しかし前にも申した通りで歌枕を探して歩くといふやうな優美な事は出來ません。けれど自然また私には私で見聞する處がないでも御座いません。人情風俗を見て世間を知るのも面白う御座いますが、ことに土地の狀況に就いて注意をし、その利用法を考へるなどはことに興ふかいことであります。昨年の秋琵琶湖畔などを旅行いたして、落穗や籾が至る所に落ち散ばつて、人の踏むにまかせてありますのを見ました時などは、年々何萬圓といふ雞卵が支那から輸入される今日、こんな所を利用して養雞などをしたならばと惜まれてなりませんでした、それから靜岡では久能山を利用して莢豌豆の早生を作つて居るのがよい思ひ付きだと思ひました。後には久能山を負ひ前には海をひかえ、左右は甘蔗の木で丁度園をしたやうに風を遮つて居るのですから實に暖いのです。此處に作つた莢豌豆は靜岡市は勿論、東京名古屋などに出してよいお金になるさうで御座います。

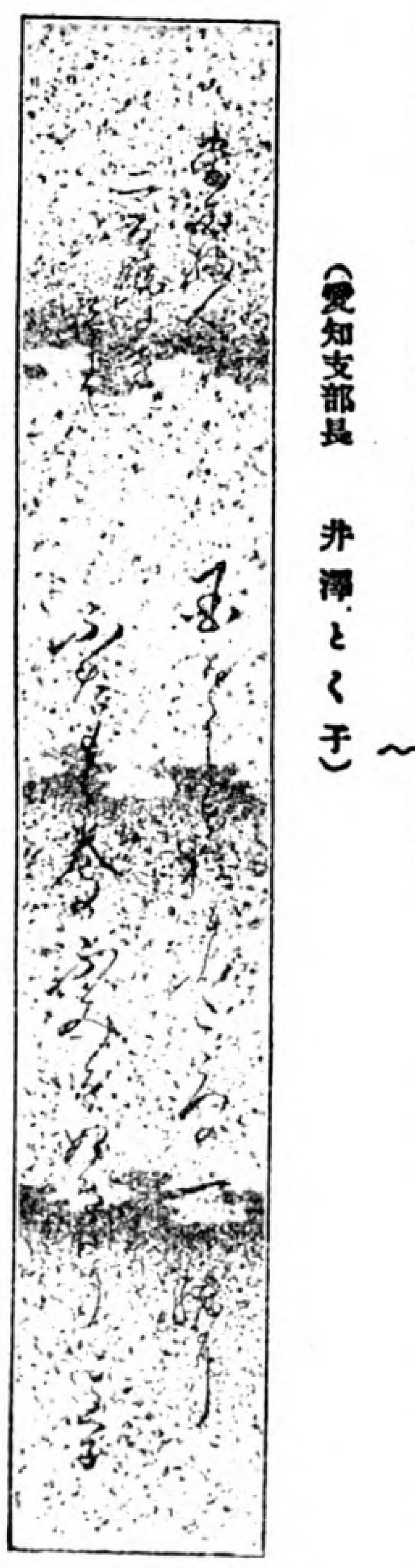
○遊んで居るのが一番嫌ひ

一體私が木を植ゑたり、花を咲かせたり、鷄を飼つたり、或はまた旅行に出かけたりいたしますのは、つまりたゞ居るといふ事が大の嫌だらかで御座います、昨夜も一寸人に話した事ですが、私に子供でもなかつたならば、朝鮮に往くと申したのです、朝鮮に往つて何をするかと申せば、まづ第一に養蠶をいたします、そして養蠶から上つた金を廻して、花の種子や果物を作つて盛んに外國へも輸出するやうにしたならばよからうと思ふのです。朝鮮は雨が少くて氣候が實によろしう御座いますから、種子ものや果實類は殊によく出來ます。斯ういふ事業を廿年計畫位でいたしましたならば、女の腕でも立派に成功することが出來るだらうと思はれます。

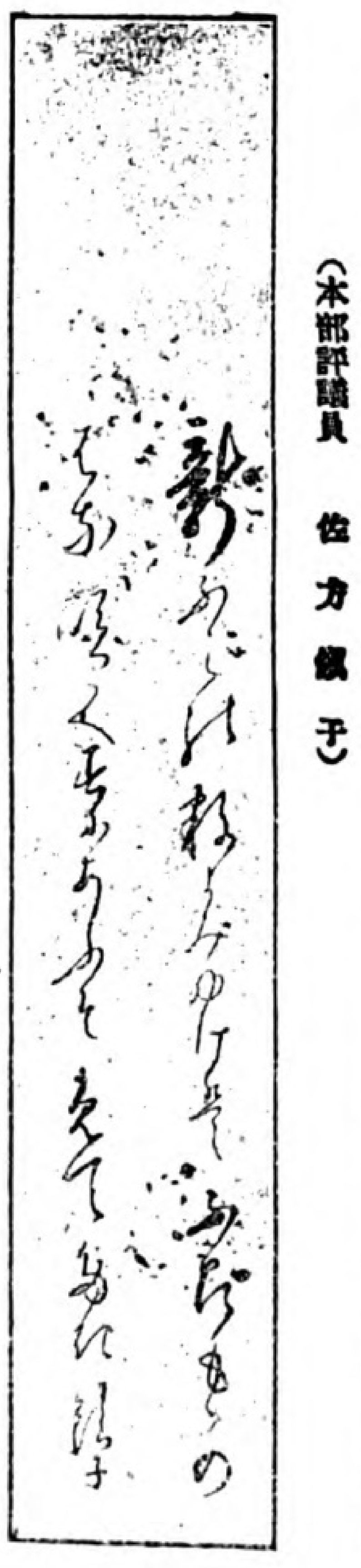
▲季節料理五種

◎おろし薯のとろろ、自然薯の皮をむき擂りおろし、之れに鷄卵を入れてよき程にまぜ、擂り鉢にてよく擂り、其儘煮出し汁にて適宜に薄くすりまぜ、小丼又は椀に入れ、燒麩をあまく薄味つけたるものを一つこのとろゝの中へかくし入れ靑海苔をかけて出す、

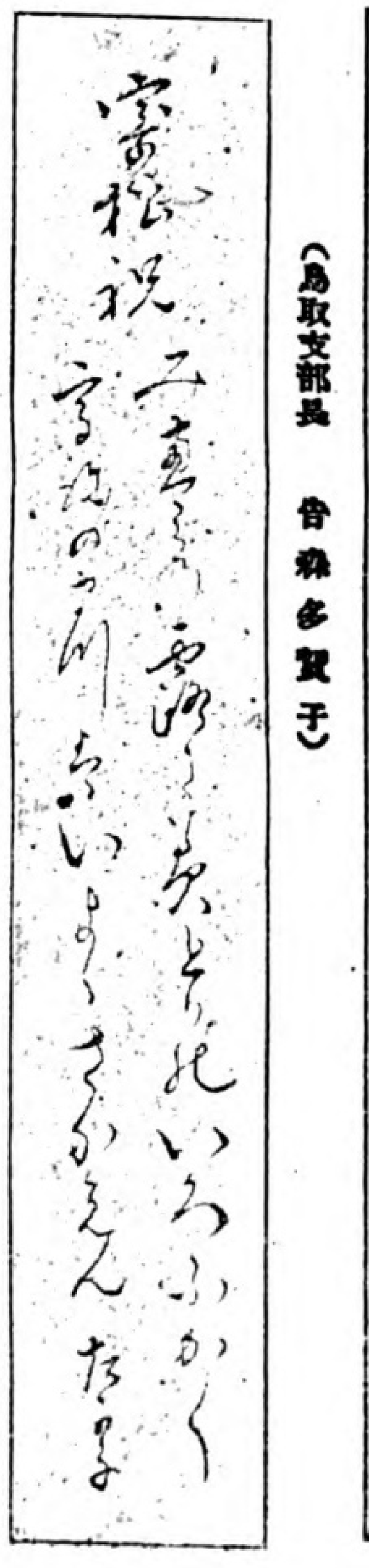
祝歌



（愛知支部長　井澤とく子）



（本部評議員　佐方鐵子）



（鳥取支部長　谷森多賀子）

◎蜜柑のなます、みかんの皮をむき、くゝりめの處を鋏にて切り、袋を去り、大根おろしの中へ交ぜ、小皿又は小丼に盛り上より三杯酢をかけて出すべし、これは手早の料理にてなか〳〵に妙なり、

◎筍と烏賊の木の芽あへ、筍をゆでゝ亂切にし、烏賊も同じくゆでゝよき程に切り、之れを味噌にあへるなり。味噌の仕方は白味噌中味噌半々の割合にて砂糖を少し入れ、木の芽を擂り込むなり。又獨活にても蕗にても用ふれば更によし、獨活は斜切に、蕗は八分位に切りて用ふべし

◎小鮎の山吹燒、小鮎の腸を去り、よく水にて洗ひ、鹽ふりかけて串にさし、玉子一つ割りてかき交ぜ、前に鹽ふりかけ置きたる鮎を水にてざつと洗ひ、火にかけて燒く、燒き加減は魚の目の白くなりたるを度とす。さて燒ける時に、鳥の羽根にて玉子をぬりつけ、又一寸火にあぶりてはぬりつける事兩三度繰り返すべし、付け合せとして隱元の靑煮などを用ふるもよし。

◎豆腐の鍋燒田樂、串にさしたる田樂は手數のかゝるものなれば今爰に手輕に出來うる鍋燒田樂の仕方を示すべし、先づ豆腐を三四分賽の目に切り、膳に布を敷きて其上に並べ置き（水氣をとるためなり）平き鐵鍋又はフライ鍋にヘツト又は胡麻の油をひき、十分燒けたる頃をはかり前の豆腐を二つ三つ位入れ、ザリザリと燒くなり、下片の燒けたる時分庖丁にて裏返し、其上に木の芽味噌をあつくつけ、暫時鍋に蓋をし豆腐も燒け味噌も暖まりたる時、庖丁にて破れぬやうに掬ひとり、中皿に盛りて、さめぬ内に手早く取り出すべし

雜錄

▲神奈川縣足柄下郡幹事部にては來る五月十五日頃第一回總會を小田原町にて開催し總裁宮妃殿下の御台臨を仰ぐ豫定なる由。

◎奇妙な治療法　近來精神治療法とか心理治療法とか稱する治療法が續々として行はれつゝあるが芝區三田四國町二番地五號松杏園に於て施し居る正氣法と云ふのは總ての病氣を至極簡單に治療し殊に脚病の如きは不思議に治癒し又腦病、神經衰弱、ヒステリー、喘息、胃腸、リウマチス、其他諸病に對し著しき効顯があり現に此の治療法を受けて全快したる人も多數なる由。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

懐かしき思ひ出

女子學院學監　三谷民子

初度の洋行當時、米國に居りました頃、左様、今は早くも八年以前の懐しい思ひ出と成りました。オハイオ州の片田舍で、朋友の清閑な別莊に滯在して日を送つて居りました、或る夏の一日の事、此家の主人が、自動車の試乘を爲るから同伴せぬかと誘はれましたが、私は相憎日本服を着けて居りましたから、些少躊躇ますと、何に田舍の事であるから、夫れで結構だ、と申さるゝ儘に、朋友夫妻と同車しました、自動車は涼しく清い朝の空氣に波動を起して、人の往來も稀れな田舍道を、勇ましく走せ行きます。

聽て三四哩を過ぎて、私等はとある緑濃き森の奥深く辿りますると、夫處に小さな村落があります。現今でこそ自動車は日本でも珍しいものでありませんが、其の頃は米國でも未だ數尠い時分でありましたから、何國も變らぬ人情で、殊に田舍人の物珍らしく、老も若きも自動車の周圍に聚つて參ります。

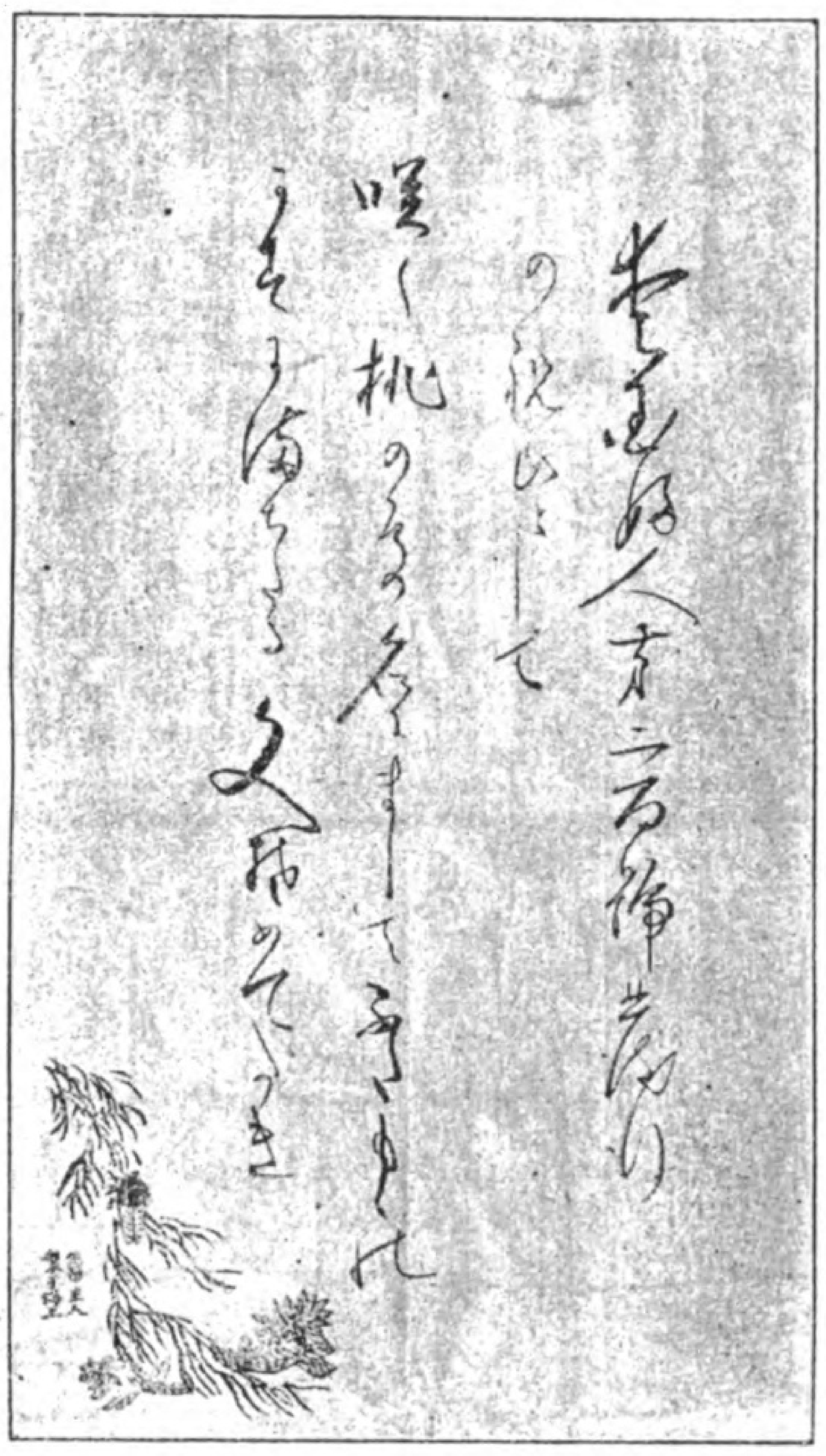
するとこゝに、色麗はしく香高い夏の草花などが生ひ茂つて、實に美しい庭園を廻らした、繪のやうな農家が一軒ありました。朋友は此家を指して、詩人の詩によく歌はるゝやうに、『搾りたての牛乳をこの家で飲まうではないか』と云ひ出します。晝食時ではあり、私等に決して異存は在りません。早速車を下りて、農家の主人に其事を申し入れますると、快く承知しまして『エヽ、今直に搾り立てのおいしい牛乳を呈げます、お菓子の要意も在ります』と云ふやうな調子で。

すると、先刻から何にか話し懸け難いやうな氣色で、私の顔をジロ〳〵と見て居りました、歳のころ三十餘りの此家の主婦が、私の同行者と英語で話すのを聞きますると、直に種々と質問致して參りました。さあ、其の質問であります。

其の時分は日清戰役後の事でありまして、日本の事情が未だ英國民にも餘り識られて居なかつた頃ではありますし、殊にはかゝる片田舍の農家の主婦でありますから、日本の事に就ては少しも智識がないと見えまして、私が日本人であるか支那人であるか判らぬと申します。私は日本人であると答へますと、夫れでは男か女か、子供か大人かと尋ねます。餘りに馬鹿〳〵しいやうでありますが、私は女である。そして學校を卒業した者だと答えました。すると次ぎには、日本は清國から何時獨立したかと尋ねます。私は度々此様な質問を受けた事が在りまするが、其折は何時もカッとして參り、顔色が眞赤に熱して參ります。此時も自分では見えませぬが、慥に熱して居ましたでせう。そして『日本は朝鮮と云ふ弱い國を助けて東洋平和の爲めに清國を伐つて、大に勝つたのである』と説明しました。すると主婦は驚いたと云ふ様子で私の説明を聞いて居りましたが、可愛いでは在りませんか、今迄主婦の椅子の傍で熱心に東西婦人の談話に耳を傾けて居た、其折十歳位の男の子、名をタームと呼びますのが、『其れは母様が間違つて居る、學校の先生もそう言つたんだ、母様は知らないねえ』と云ひます、『だつて、お前が話して聞かせなかつたではないか』『いやお話を仕て上げたんです』と云ふやうな應答が母子の間に在りました後で、主婦は靜に私に向ひまして『つひ知らぬ事とて先刻の失禮を何うぞ惡からず許して被下いませ、だが私は又々失禮を顧みず、貴下に御願致したい事がありま す、外の事でも在りませんが、私は之れから日本の事情に就き少々研究して見たいと思ひますが、所詮日本に參る事は出來ませんので、せめて日本の人と音信なりと致したう御座います、何卒貴下は私と音信する事を承諾して被下いませんか』と申しますから、私は早速に快く承知致しまして、堅く誓の握手をして又も自動車に打ち乘り、歸路に付きました。

二度目の洋行の時には、この別莊の朋友は既に故人に爲られまして、思ひ出多きこの別莊も花美しき農家も見舞はずに仕了ひ、農家の主婦とも其後二度面會致した事は在りませんが、爾來八ヶ年間、文の便りだけは誓の如く缺さず致して居りまして、主婦からは『其後大分日本の事に就て研究を重ねましたから、今度面會致しましたらば、以前のやうな恥かしい質問は致しません』など、申して參り、又先頃は『私の愛する日本國の貧民兒童の爲めに此金を使つて被下』と申して三弗の金を送附して參りましたから、早速其人の名に依つて、或る所に寄附致した事もありました。

以上は私の古いゆかしい思ひ出に過ぎませんが、又外國婦人の研究心の深い、一例とは爲りましやう。兎角西洋人は如何にも研究心に富んで居りまして、いくら歳が老いましても尚進んで研究を止めぬと云ふ羨しき精神があります。倣ひたいではありませんか。



香川支部長　小野田安子

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

衛生講話

心臓の働

醫學博士　二木謙三氏談

◉人間の體は何所を刺しても血が出る。即ち人間は血液の中に包まれた袋だとも考へて見る。又人間の體の半分位は血液であるかとも考へて見るが、實際は其程澤山血液のあるものではない。血液は人間の體量の十三分の一であつて、十三貫の體量の人であつたら、血液は一貫目、即ち升目に直すと約二升であります。西洋人は體が大きいから二升八合平均の血液があります、日本人から見ると血液が八合位多い割合になりますが、血液の多いのは豪く尠いのは馬鹿と云ふ理もありませんから、安心して可なりであります。

◉さて此の血液は常に身體全部を循環して居ますが、其の循環のもとは申すまでもなく心臓であります。心臓は左の乳の下に深く胸廓内に位し、大きさは丁度拳程で、中にシキリが在つて左右二つの室に分れて居り、血は其左の室から出初めて全身を循れば今度は右の室に歸るのであります、心臓から出て居る血管の大きさは親指位であります。

◉血が心臓の左の室から出で、全身を循り右の室に歸へつて來るまでの道程は大變に長く、其間用向も多くあるが、血液は仲々勉強なもので、全身を一週して歸り來るのは僅に二十二秒間であります。即ち一分間に約三回、一時間に百八十回、一晝夜二十四時間には實に四千三百二十回である。一日も休まず夜は人は寢ても血の循環は休みなく、一年三百六十五日人生五十年の間循り循るのであります。

◉心臓は斯の如くにして絶えず、縮んだり伸びたりして働いて居ります、而して其内部には輔子の様な瓣がありますから、輔子には風が後より入りて前に出るやうな譯で、心臓には血は絶えず右より入りて左より出る樣になつて居る。而して親指大の血管から押し出さるゝ血は水の如く心臓はポンプの如くであります。

◉前にも述べたやうに心臓のポンプは、人々の體の大小に準じて拳の大きさではあるが、其働きは至つて強いもので、一分間六十乃至七十回伸び縮みして、其一回の伸縮毎に西洋の目方で七十瓦、日本の目方で四匁弱の血を、二メートル即ち一間の高さに抛げ上ぐる働きをする。而して夜も晝も休みなしに働いて、二十四時間の働きを合算すると一萬八千キログラム・メートルと申して、日本の升目に計算すれば、九千石の水を三尺の高さに抛げ上ぐるだけの働きをするのであります。九千石と申しては何れだけ澤山であるかは一寸想像に浮ばぬが、之を四斗樽に直して見れば丁度四斗樽に二百二十五杯の水を一晝夜の内に三尺の高さに抛げ上ぐるだけの働きをするのであります。

◉誰れにこれ丈けの働が出來ましやうか、恐らく梅ケ谷や常陸山が十人かゝつても六づかしからうと思ふ。此の小さな心臓は、人の爲めに夜も日も寢ずに其れだけの働きをして、明る日は疲れたとも云はぬのである。人間は實に此の血と此の心臓の力によつて生きて居るのであります。而して人間は一杯の飯を呉た人には御禮を云ふが、命を繋いで居つて呉れるものには御禮を云はぬのである。心臓や血液は褒められんでも御禮を云はれんでも不服は云はぬのである。主人の見て居る所でも主人の居らぬ所でも同樣に働くのである。實に人は心臓と血液の力で生きて居る。而して吾人は又米と百姓の力で生きて居るのである。百姓は夏も冬も汗水流して働いて居る。避暑にも行かず避寒もせぬ。人は彼等の力にて生きて居る。而して彼等は勳賞を貰はんでも不服は云はぬのである。我々は血液と心臓と米と百姓とに感謝致しましやう。

御製にも

白露のおきふしごとに思ふかな
民の草葉のさかゆかん代を

と、誠に有り難きことで御座います。

(講話筆記の一節)

新刊紹介

●アダム・ビイド(松本雲舟譯)　英國の女流文豪エリオット女史の傑作アダム・ビイドを翻譯したもので、原著は世界の九大小説の一つに數へられるものでありますから、全篇清い美しい空氣に滿ちて居ります、家庭の讀み物としては結構な書物であります、譯者は「何處に往く」以來その名を知られた方丈けありて、譯文の流麗なる、自ら讀者を引つける力があります。(鷲醒社發行、定價五拾錢)

●評釋女大學(戸川殘花著)　福澤先生の新女大學は當時隨分讀まれたやうでありますが、しかし、徳川時代に貝原益軒の女大學が勢力を持つた程世の中に影響を與へなかつたやうに思ひます。して今の年若い女學生方は昔の女大學も福澤先生の新女大學も知らない方があるかも知れませぬが、それは決して誇るべき事ではありますまい、ことに昔の女大學の精神に至つては日本女子の最も高尚な美風として千古に傳ふべきであらうと思ひます。日本の女性が世界の婦人中最も美しい德をもつて居ることは昔女大學流に訓傳された結果ではありますまいか、戸川先生の此著は卽ちその女大學を評釋して、その精神を發揮しやうとしたもの、極めて平易に且つおもしろく出來て居ります。

●ロビン・フード物語　今から七百年の遠き昔綠蔭芳草の森深き地に住いて時の權威と暴虐とに逆らひたるロビン・フードと呼ぶ豪傑の勇ましく面白い史外史傳であります、(文學士近藤敬三郎氏譯編、東京巣鴨内外出版協會發行、定價金三十錢)

▲江戸川の電車終點から矢來の交番の方へ行くと其の中央に大きな屋根看板に風味ありのみと記されてあるのが目下大高評の越後名産製菓專門の二葉商店で品が安くて上等で加之店員のあふろ、愛嬌に非常なる盛況を極め居ると云ふことである。

プレスト洗粉

常に愛用せらるれば色白く皮膚を美麗にする特効あり

東京牛込區東五軒町
本舗　山本玉川堂

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

牡丹　和歌

佐々木信綱選評

天　三河田原　山内經子

音もなく牡丹くつれてひら〳〵と蝶まひいでぬ羽袖おもげに

（評）かゝる歌をこそ眞に有聲の畫といひつべけれ

地　赤坂區臺町　清水まつ子

からねこの眠れる庭の石の上に音なくちりぬ緋牡丹の花

（評）四句原作音なくちれり

人　福島縣柳津村　爲田よしの子

（宮内省御歌所主事坂正臣氏書）

十種ともいまたそろはぬ一二畝の牡丹畑を祖父はほこれり

（評）一二句きのきゝたるいひざまなり

秀逸

緋牡丹のくづろゝ見つゝ雨の日をうらさみしくも過しつるかな　岐阜　野村なか子

二つ三つひらきそめにし深見草はやくも蝶の訪ひてけるかな　岐阜　小島駒子

春の日はうらゝにさして廣庭の塵も動かず牡丹花ちる　岩代　長谷川よしの子

この朝け小雨降り來ぬ誰そや來て牡丹命婦に傘まゐらせよ　同　人

ふかみくさ色にいつればみえれとも白きはことにめでたかりけり　函館　五十嵐やそ子

活けて二日君は訪ひ來ず茶をたてゝひとりしめでぬ白牡丹花　本所　武田きん子

見るわれもほゝゑまれけりふかみくさゑみさかえたる花のおもわを　兵庫　水野靜子

さびしくもひとり文よむ窓の外に牡丹花ちる小雨ふる日に　岡山　盛江幸子

佳作

めで植ゑし牡丹の主そなつかしきひとりたゝずむ春の夕ぐれ　京都　田中久惠子

咲きにけりかなりもいろもふかみ草あかきましろき姿やさしく　麻布　無名氏

公園の牡丹花咲く雨の日を物語りして蛇の目傘ゆく　芝　小山季茂子

ゆく春の色香みよとや深見草ほこりて咲ける花の大君　芝　土師利根子

春もはや暮れむとすらん二十日草はつかに花の咲き出にけり　美作　西村長子

榮えゆく御代にならひてふかみ草いろ香もわけてめでたかりけり　横濱　鈴木まつ子

野つゝきに雲金色のかげうけて夕日にほころ朱の牡丹　芝　土師房子

霄にも木にも力のあらはれていよし氣高きふかみ草かな　備後　世應龜子

露ふかみ朝日に匂ふ二十日草いろ香まさりて見ゆるけふかな　京都　白百合子

いつれたもあかれ色なる中にしも若葉ゆかしき白牡丹かな　石卷　吉田とき子

咲く花に露も匂ひて奕しう色香江ならぬふかみ草かな　岡山　森島古野子

深みぐさ深くも露の置きわらん落ろしつくも香に匂ひつゝ　青森　三上八重子

古寺の垣れにはゆう見ゆるかな夕日に薫るいろふかみ草　三重　莊司種子

●締切後到着

あさゆふに見れどもあかぬ深見草うべもたうとき花にぞありける　岐阜　坪田てい子

くれなゐのいろふかみくさ咲そめて賤かふせやも賑あひにけり　同　同　人

花もおほきうちにめてしはとり〳〵のにほひもふかきふかみくさかな　同　坪井衣子

咲きいてむつほみもそひて送りこし人のなさけの深みくさかな　岩代　西山佐保子

俳句　雜

鳴雪先生選

天　備後　世應龜子

雲に入る仙女もあらむ春の風

地　岡山　森島古野子

日のさして小鮎の群に漣す

人　岡山　妹尾丁子

きぬ浸すたらひの中に蛙かな

佳作

御禱の模樣まばゆし春の宵　神奈川森田田鶴子

紅梅や君が古りにしまひ扇　京都　はつ女

いとせめて別れ本意なきおぼろ哉　同　人

おひろひの裙の埃や八重櫻　同　人

貝拾ふ後に山の笑ひけり　岡山　森島古野

瀬に立て一人鮎汲む男哉　同　人

蒲公英の摘捨られし小路哉　同　人

鐘の音も空にひゞきて歸る雁　東京　小山季茂子

花咲くや胸召し給ふ小公達　神奈川森田田鶴子

出る船の一帆〳〵や春の風　東京　大橋正子

山の端の月より高し揚雲雀　備後　妹尾常子

長閑さや機織る窓の開放し　同

山門に櫻散り込む夕日かな　東京　清水治子

花見して春は長閑き日なりけり　三重　鈴木はる子

春の夜の起きて人まつ女かな　岡山　西村長子

案諸はおぼろに消えてたれ柳　横濱　上杉らく女

わけ入れは春に奥より山櫻　長野　塚田忠子

汐干狩脱ぎし足駄のあり所　丹後　一文子

銅像の馬嘶して春の雨　山口　末田竹子

紅梅や鳥の餌をする女の子　石川　白藤

うたゝれの夢覺し春の雨　同　同

妻琴を春淋しさに鳴らしけり　岡山　盛江幸子

雛段に雛いろ〳〵とせゝこまし　同　同

春の日に遂ふ人は皆花見かな　福岡　小林秀野子

米研げば魚跳れ上る柳かな　福井　入木貞子

新嫁のもすそ重げや春の雪　京都　井上こう子

水鳥の岩に眠りて長閑なる　青森　小田美喜知

孫連れて日和を彼岸詣かな　丹後　一文字

雑木山たゞひともとの櫻かな　岡山　妹尾丁子

二三日は雛にかしづく女かな　富士見町田村かれ子

時なれや草の庵に草のもち　同　人

喪衣した寺の小娃や佛生會　神奈川森田田鶴子

田から田へ水は引かれて啼く蛙　同　人

妹が力手折かれたる緋桃かな　三河　經子

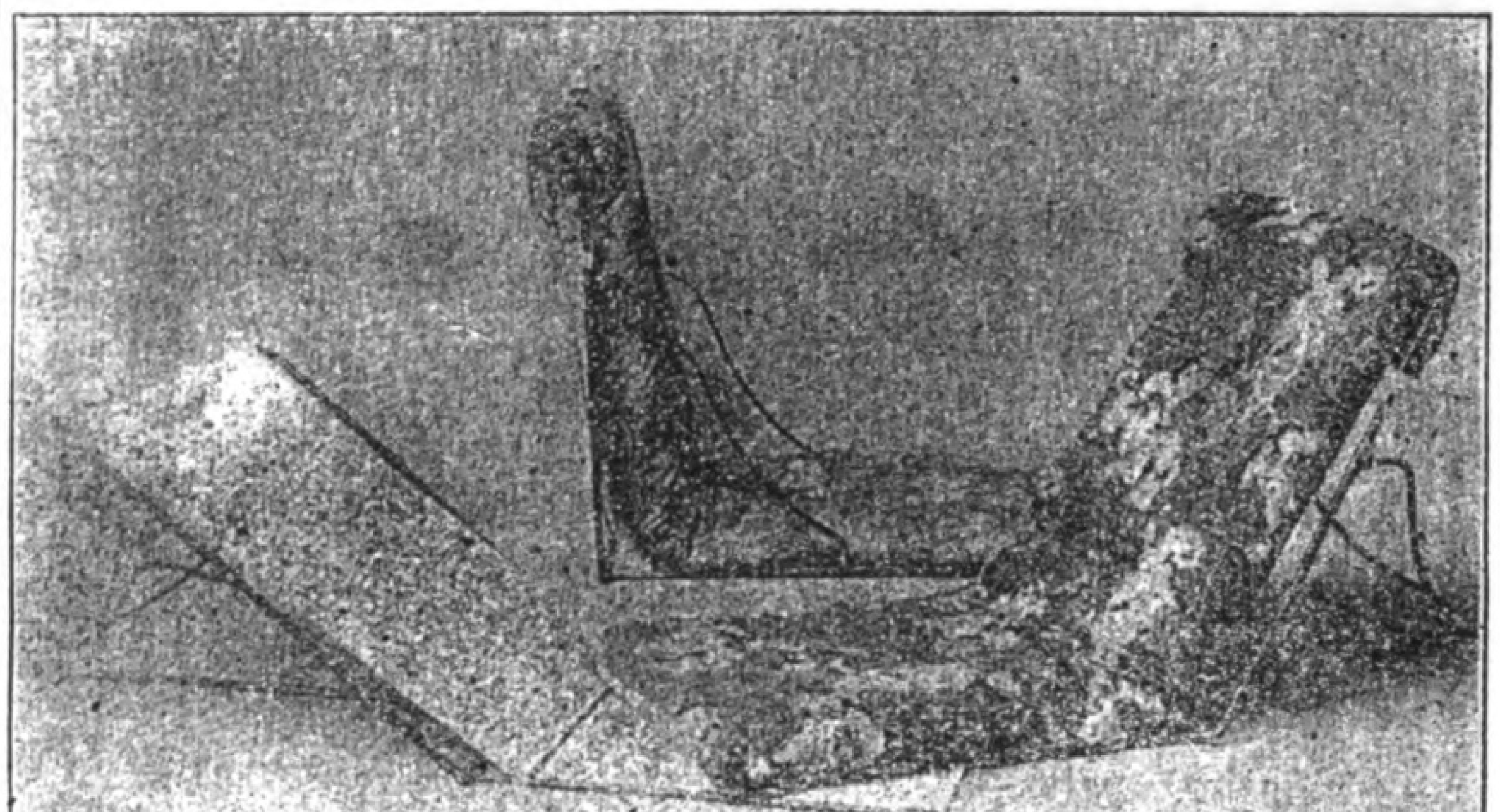
欄干に内侍の袖や春の風　備後　妹尾常子

彼岸會の入日に向ふ佛哉　同　人

夕櫻遊びつかれて晝寢かな　福岡瀬口しげる子

あたゝかきひがん詣の着哉　長崎　本田りす子

孫負て梅の花見る翁哉　同　人



專賣特許　一森式坐椅子

日本室内に坐臥する老人妊婦各種病者に慰安を與ふる器具にて一箇にして坐椅子となり寢臺となり疊込めば縮小して携帯に便なり

定價

布團ナシ　壹臺　金五圓以上

更紗布團付　同　金六圓五十錢以上

メリンス布團付　同　金七圓五十錢以上

東京市外は郵便小包にて御送り申候（内地送料金四十錢）

東京市芝區下高輪町二一

電話芝一〇九五番

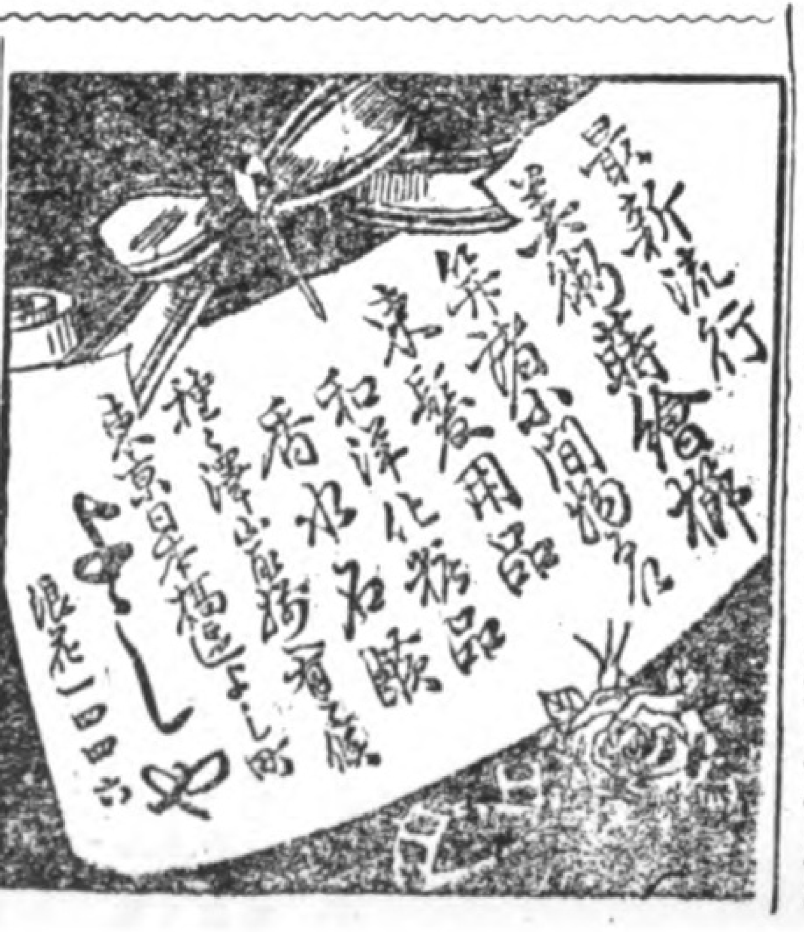
振替口座一八七六七番

製造發賣元　樂民堂

特約店　東京　大阪　三越呉服店

其他販賣店各地に在り

（說明書は御申込次第進呈仕候）



より寄藥を得薄毛も濃くなり生へざる毛生し嬉さの餘り困る方に分與せしにる有餘の證狀を受け不思議のまゝ術困難者へ皆ぐ三錢郵券添御照會あれ

東京々橋蛎前堀一ノ四　河村愛子

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

家庭叢談（二）

三千子

▲『何うも主人は書物好で、朝から晩迄暇さへあれば、本を見て居まして、そして矢鱈に買集めて仕様がありません。』とは毎々諸方の奥様から拝聴する御詞ですが、御主人が本好なら、奥様も共々に其趣味を養て、お話相手に成たらよさそうなものでございます。御婦人が、本をお集めになるのも、洵によいお樂です。古書の面白いもの、新刊の利益になるものなどお集めになつたら、實に高尚なよいお慰みになります。古書の中には源氏物語、枕草紙等の寫本でも、版本でも、隨分よいものがあります。又古人の假名帖や、或は名所圖繪の如きもの等價も夫程ではなくて、保存して置きたいものが、澤山あります。又馬琴や京傳の小説類戲作者草双紙類には、表紙畫挿繪などの、實に版の細かい美しい物があります。之等に趣味をお持になりますと三越や白木にお通ひになる一度分で幾十冊の本をいつ迄も御家内中で御慰に出來か分りません。

▲物を買ふに、女は兎角迷ふて、容易に決らぬ癖があると申します。私は何時でも價の凡の標準を定めて置いて、先づ其價に近い中から品物を取りまして使ひ途に由て品質を主として撰ぶ時と、柄を主として撰ぶ時とございます。柄を撰ぶのは自分の趣味があれば、別に迷ふ事はありませぬ。呉服物など、一々擴げて、肩にかけて、ためつ、すがめつするなどは始から柄の善惡の分らぬ人がする事です若し價格が標準に餘り相違して居たらば、何時でも斷然やめます。稍標準價格より高くとも、柄なり、質なり、非常に心に適た時には、稀に買ふ事もありますが單に價が廉とて、少も氣に入らぬものを買のは、愚な事だと思つて決して致しませぬ。

▼愛國文苑▲

◎和歌　佐々木信綱先生選
かやりび（五月廿日〆切）　雨後納涼（七月五日〆切）
夕　立（七月廿日〆切）

◎和歌　坂正臣先生選
新樹露（六月五日〆切）　水邊夏草（六月廿日〆切）

◎俳句　内藤鳴雪先生選
かやりび（六月五日〆切）　夏　野（六月廿日〆切）

▲和歌の選は新派歌壇の明星佐々木先生の外に舊派の泰斗宮内省御歌所主事坂正臣先生に御依頼し隔月に選評して頂く事と致しました、宜く前記課題に御注意あつて〆切に遅れないやう御投稿被下い▲用紙は葉書でも封書でも差支ありません▲和歌と俳句とは別の用紙に認めて被下い▲文字はなるだけ判り安いやう願ひます
▲賞品は從前の通り　天賞（和歌『日月帖』俳句、寫眞ブック）　地賞（繪葉書ブック）　人賞（同上）

▼三月　六日（水）　雨　載灃殿下退京◎故岩倉公爵葬儀◎東邦教會第十七回法會
▼同　七日（木）　晴　竹田宮殿下神奈川縣下より御歸京◎閑院宮妃殿下國府津別邸御成◎各師團長狀況奏上◎神戸沖火藥爆發
▼同　八日（金）　晴　皇后陛下沼津町日枝神社御成◎御沙汰に依り渡邊宮内大臣韓國宮内官（故岩倉公葬儀參列の）招待◎閑院宮妃殿下御歸邸◎佛教青年傳道會主催釋尊降誕會（國技館）
▼同　九日（土）　雨　東宮殿下葉山行啓◎伏見若宮同妃殿下露都御安着
▼同　十日（日）　雨　櫻花滿開雨の日曜なれど所々賑ふ◎山階宮大妃殿下女王御同伴京都より御歸京
▼同　十一日（月）　曇　皇孫殿下上野動物園御成◎伏見宮殿下新嘉坡御安着◎東伏見宮妃殿下逗子御成◎本日締切第二回四分利公債應募一億五千萬圓◎やまと新聞主催櫻田烈士五十年祭
▼同　十二日（火）　曇　露國皇室に對し御謝電あり（伏見若宮同妃殿下御歡待に對し）◎米國ハーバード大學總長入京◎汐干狩
▼同　十三日（水）　晴　詩人故小野湖山翁に對し祭粢料御下賜◎東宮殿下軍務御研究の爲め大垣御出張◎文部省は内務省と協定し學生風紀取締の訓令を出す
▼同　十四日（木）　晴　滿洲觀光團入京
▼同　十五日（金）　晴　東宮妃殿下葉山より御歸京◎閑院宮同妃兩殿下福岡へ向け新橋御出發◎第六號潜水艇廣島灣より沈沒
▲同　十六日（土）　晴　故前田宮城控訴院長葬儀に付同邸に侍從御差遣◎清國長沙暴徒蜂起◎大日本婦人教育會例會◎慰廢園寄附慈善音樂會
▼同　十七日（日）　晴　皇孫三殿下陸軍騎兵實施學校に、富美泰兩宮殿下新宿御苑に御成◎伏見若宮同妃殿下露都御出發◎竹柏會大會
▼同　十八日（月）　晴　潛水艇沈沒實況調査の爲め侍從武官御差遣
▼同　十九日（火）　晴　文部省の學制改革案發表
▼同　二十日（水）　晴　十五日沈沒したる潛水艇乘員に對し兩陛下より金圓御下賜◎北白川宮殿下御職務を以て千葉縣御成

◎發明館　清浦子爵が熱心に統監する工業所有權保護協會が其主旨の一部を實行普及する爲めに汎く發明品を集め名も發明館なる商館を開設し銀座街頭に一異彩を放ち居るが開館日淺きも來館者日を追ふて増加し毎日六七百到平均の賣れ行きを舉げつゝありと云ふ

◎天賞堂の奢華大賣出し　天賞堂にては兼て歐米製造元へ註文し置きたる最新流行の金銀時計寶玉類を始とし雜貨多數着荷したるに由り去月十日より本月十日迄大賣出をなし尚ほ大賣出し中は吉例に依り一本も空籤なき福引景品數萬個をも進呈するよしにて店頭日々大賑ひに賑ひ居れり

◎和光堂の滋養糖　小兒用滋養糖は一般牛乳の消化を助け滋養分を吸收する上に絶好の物にて目下は著名なる小兒科病院醫院等にて盛んに處方に用ひ居る由販賣所は神田美土代町和光堂

目下東髪界に持て囃されつゝ有る割れたる珍奇の貝類を巧妙に取合せ調製したる
一枚櫛　並に中差簪等　種々取揃中置候

世界流行の中心たる佛國巴里の交際場裡に於て目下最も流行しつゝある季節向の
東髪用　タボ櫛　三枚櫛　リボン　ブローチ　等種々新着仕候間御光來の程奉希上候
尚御持古しの小間物交換仕べく候
東京市神田須田町（電話本局二〇七六番 振替口座二八一番）
鼈甲小間物商　三井屋徳次郎
京橋區新橋際　博品館内支店
神田裏神保町　東明館内支店

美しい花も
不斷に手入せねば能く咲かぬ
美しい人も
生れたまゝでは綺麗でない
肌を荒さず
營養を完全に
白粉を用ひず共素顔で美しい樣
平生の注意が
最も大切
それには唯一の美顔料
『クレームレート』を
絶えず
愛用するが
肝要
『クレームレート』は全國到る所の和洋小間物店及び賣藥店に販賣せり
定價　小器　金貳拾錢　中器　金參拾錢　大器　金五拾錢
發賣元　東京 大阪　平尾贊平

世の多くの婦人は
子宮病の
治療を誤て居ないか

一概に子宮病と云ても其種類は隨分多く從つて治療法も種々あるが、一般婦人の自宅治療を見るに甚だ勝手氣儘で服藥は厭だの洗滌は面倒だ、さし藥は困ると病源を考へ藥を適用せず、自己の都合より割出した藥物應用である、爲に内服藥の必要なる症狀に向て外用藥を用ひ、外用藥の必用は内服藥のみを用ゆる矛盾の治療をして、子宮病の不治を嘆く婦人の多きは誠に殘念である津村順天堂の自宅治療法は一藥萬能主義でなく一數種の加減内服藥と數種の外用藥を以て婦人病の根治を保證するのであるが今外用藥中將湯を使用すべき諸症を同病患者に告白す幸に自己の症狀を考慮して本劑を用ゆれば必ず滿足なる結果を得べし尚詳細を知らんと欲すれば詳しき容體を記して本舖津村順天堂へ申込れよ

●中將湯は婦人病一切の内服藥にて中將球は子宮内膜炎とか白帶、赤帶、こしけ子宮痙攣、子宮加答兒、膣炎、膣加答兒子宮爛糜、子宮惡臭、子宮搔痒、尿意頻促、月經時の疼痛、痳毒性子宮病等の特効あり殊に良夫の痳疾に罹り居る時は痳毒菌の爲に心付かざる内に子宮を害する事多ければ常に中將球を使用して本病を豫防せられよ不姙性と流産、子宮内膜炎の分泌物及び酸性の粘液は精蟲を害し不姙症を起し子宮の炎症は卵の發育を妨げ姙娠するも流産となる事多ければ本劑を使用して病根を斷つ事肝要なり
定價百二十個五圓四十五個二圓二十個一圓九個五十錢三個二十錢本舖は東京日本橋通四丁目（振替口座一六八〇番）津村順天堂です●取次全國各藥店

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

講談

赤穗義士ノ内 勝田新左衛門

大島光利口演

第二席の二

重『然し兩國橋を渡り川下川上を眺めながら行のは又格別じや、昔の歌にあるぞ、雪ならば冬ごもりせる草も木も春に知られぬ花ぞ咲けるとある、云へば久助頭を振て

久『旦那様、然云ふ歌もあるかも知ンねへが、俺の國の彌五郎新田に御坐らッしやる名主様が昔の人の歌だと云つて敎へてくれた歌が御座りますぞ

重『ウン何と云つた

久『世を捨て身は無ものと思へども雪の降日は寒こそあれと云ふのだ、重兵衛思はず哄笑て

重『貴様は馬鹿でも能知つて居る、人情に適つた歌じや、云ひつゝ袂を握みし孫の手をソト拂ひ口の内で猩々の謠曲を密やかに唄ひながら重兵衛は其儘立出いそぎし途中、柳原の堤は雪の爲に人通りも稀、兩國の廣小路も多の觀物小屋は皆休業と見えて葭簀を卷てある、九十六間の橋上吹來る北風は筑波颪、面を向けべき樣もなし、傘傾むけて回向院前より右に折たる兩國元町、彼の路を左りに切れ松坂町二丁目吉良上野之介殿門前へかゝりました、抑も本所松坂町二丁目吉良上野之介殿御邸は其前まで鍛冶橋中に在しを、淺野内匠頭樣御切腹、御家斷絶の後は御本家松平安藝守樣其他の御盡力にて如何なる仔細あつてか知らねども、覺に本所松坂町へ引移りました、以前近藤登之助と云へる御旗本の揚地邸の跡なり當今の松坂町二丁目四番地是にて、今重兵衛が上野之介殿長家下へかゝりし時、正面を見やると、降しきる雪の中を身にはボロボロの衣類を着、膝の脱たる股引に三度笠の破れしを冠り、天秤を擔げたる小商人の初雪やあれも人の子樽拾ひと名句に在が如く、世の生計とは云ひながら、別に買人もなき容子なるが氣にもせず、四方にひゞく大音聲、大根〳〵と呼ながら來たる、細やかなる大根十四本擔ひたり、盡せぬ縁か重兵衛が摺違ひさま渠の呼聲を聞ば、去年三月播州に旅立なしたる娘の婿勝田新左衛門の音聲に能似たり、ハッと思つて三度笠の裡をソト覗けば、心の迷ひか頰骨の瘦たる處まで生寫し、是時に胸中に思ひまするには、盛衰榮枯定めなきは浮世の常、主家斷絶の夫が爲若や勝田が零落て斯やうな打扮になつたるか、然し勝田と呼ぶも下郎の手前も面目なしと前後を考へて回顧り

重『久助や

久『エ、

重『貴様は三ツ目の早川氏を知つて居るナ

久『エー旦那様、例も靑黃粉を攪亂す家だんべエ

重『彼家へ一走り先へ行け、旦那は松坂町まで御出になつて鳥渡寄道があるから程なく來ると行つて先へ知らして置け

久『ヘエ、毎々茶の湯の御供を爲ると俺は飲口だから供待で退屈だんべエと旦那樣が錢をくれるから前の池田屋と云ふ飲食店に入つて一盃飲だが今日は何うだネ、呉ますかね

重『ウン中々催促の劇しい奴じや、イヤ之を遣はす、燕口と云ふ其頃武家の持し紙入より鳥目を取り出して渡す、久助はホク〳〵打喜び其儘先へ駈出す、見間に雪にさへぎられて姿は見えずなりました、先づ之にて心安しと大根賣を回顧れば、吉良家の長家下に立止つて大根〳〵と呼で居る

重『大根賣鳥渡待、云へばハット驚いて彼は笠を冠りしまゝ小腰を屈め

○『ハイ御用で御座いますか

重『用事があるから呼だ、其方は何うやら我が知合の人間と思ふ、他人の空似とやらで若人違ひであつたら詫る、兎に角冠り笠を取れ、申し渡すと果せるかな勝田新左衛門武堯なり晉の豫讓の唐土の故事に習ひ姿を下賤に落し今吉良家の容子を探る爲の大根賣、然るに呼止たる舅は吉良家に縁故ある德川家の御直參、南無三と思ひましたが猶も顏を見せぬやうに頭を下げ

新『ハイ此雪で難儀で御座りますが、冠り物だけは御勘辨を願ひませう

重『イヤ苦くない

新『何、笠を脫私が苦いのです

重『ハテナ妙な奴じやとツカ〳〵と傍へ倚、笠に手を掛引捲る、顏見合せて驚く重兵衛

重『ウン其方は婿じやノ、と云ふ口押へて新左衛門一段聲を低くして

新『偖、其後は御不沙汰のみ、斯零落たるも仔細ある事、何卒コヽハ往來、何事も仰せなくと詫る容子を篤と見て

重『ン、零落たとは云はせぬ簞笥長持夜具布團諸道具も三車以上、拙者が現在預かつて居る、

色白く艶をだす（大形 廿錢　小形 十錢　新小角 十錢）
松澤ホーサン石鹸
東京本石町四　松澤常吉
○近來類似品あれば御買求の節は上部の商標に御注意を乞ふ○市内賣藥小間物化粧品店にあり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

今日此頃必要なるお品!!

三越の織物は柄の新しく氣の利きたるが特色なり。
三越の雑貨は價の廉くて品の確かなるが特色なり。

三越はデパートメントストーアなれば、呉服、太物を始め、洋服、貴金屬、小間物、化粧品、文房具等を何呉となく取揃へ置き申候。

三越は目下流行の新柄チルこセルを始め初夏の流行品を販賣致居候。御注文次第、早速御届け可申上候間御注文被下度奉願上候。

地方御注文案内書は御申込次第進呈仕候

東京駿河町

三越呉服店

振替貯金口座番號（東京三〇〇番）

醫院案内

福田病院　京橋釆女町歌舞伎座前横通　電話新橋（三三四二・一四八八一）
院長　醫學士　幅田謙之
次長　醫學士　加藤良逸

小兒病一般　並（小兒皮膚科・小兒耳科）
隔離室の設備あり
小生儀今般東京帝國醫科大學小兒科醫局長ヲ辭シ福田病院ニ入局ス
醫學士　加藤良逸

腦神經精神病科
東京龜戸町電話浪花二五五二
加命堂腦病院

◎**産科婦人科**
芝明船町十九虎門外
電話新橋三三二四番
櫻井克巳

岩佐病院　日本橋區蠣殼町二丁目廿三番地（電話浪花六七九番）
診察時間　自午前九時至正十二時
内科婦人科　院主　岩佐純
内科　院長　ドクトル　岩佐新
外科　醫學士　山村正雄
産科婦人科　醫學士　西村漸
腦病脊髓病　醫學博士　土田卯三郎

生殖器科
梅・生殖器病・外科（どくあざほ黒）
東京淺草瓦町廿八瓦町電車停留場横
中央醫院

生殖器病專門中央醫院處方
梅毒（横根下疳）**りん病・ぢ疾皮膚病**
わきが
生殖器病　神經衰弱（記憶力減衰・陰萎夢精遺精・早漏陰莖發育不充分）
●病状を記し郵券六錢送れば其病を速治する特効新藥説明書送る
東京淺草瓦町廿八瓦町電車停留場横
中央藥院

◎**院長**ドクトル**木村順吉**
京橋卅間堀一丁目角（電話新橋二六七〇）
婦人科産科木村病院

産科婦人科專門
診察毎日午前　入院隨時
淺草區左衛門河岸
電話下谷一〇二八
岩田病院

院長診察月水金木前松田醫學士診察火土前窮者施診火木前入院診斷隨時應需松田林兩副長は目下當院に在勤
電本八八八（病院用）八九八（私宅用）
東洋内科**醫院**
東京神田區駿河臺鈴木町二（御茶水橋畔）
院長醫學士　**高田畊安**

神奈川縣高座郡茅ヶ崎村濱（停車場所在）
南湖院
電話茅ヶ崎二番
河野副長は目下當院に在勤
院長診察土曜日午後〇同時窮者施診
副長診察月、火、水、木、金、土、午前
〇入院診斷後隨時應需

産科婦人科小兒科
院長　毎日午前八時より
醫員　毎日午後三時より
診察時間
女醫　鷲山彌生

内科部長　**醫學士武智基造**
診察時間　火木土午後壹時より
病室及産室の設けあり入院隨時
東京市麴町區飯田町四丁目卅一番地
東京至誠病院　電話番町二二五七

院長　醫學博士　榊順次郎
副　醫學士　久保徳太郎
副　醫學士　田代謹二
婦人科産科　毎日午前診察
婦人科的外科
外國留學中
婦人生殖器病及内科
泌尿器病
一般火木土午後診察
●施診火木土午後一時至二時
麴町區三番町三三（電話番町三九五）
婦人科産科榊病院

小兒病診療　往診午後・宅診午前
淺草區新福井町二（瓦町電車停留場際）
醫學士　**内田愼太郎**（電話下谷七一八）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

倫敦の旅館
日英大博覽會
紳士淑女を歡迎す

ARUNDEL HOTEL,
Victoria Embankment, London, W. C.

當館は地下電車乘場に接近し日英博覽會場へ數分の間に達する事を得、第一流の劇場に近く、寢室壹百、圖書室、喫烟室、球突場等完備す、眺望は雅なり。

英國倫敦　アランデル　ホテル

CHARING CROSS HOTEL,
Strand, London,
電信宛名 "Banqueting, London.,,

本館は倫敦第一流の旅館にして市の中央に在り鐵道に及び電車に近く遊覽見物に便なり、寢室三百、五十室に電話、圖書室、喫烟室、遊戲室、水浴室等完備す。

英國倫敦　チヤーリング、クロス、ホテル

QUEEN'S HOTEL,
Upper Norwood, London, S. E.

本館は日英大博覽會場に接近せる大旅館にして見物に至便なり宿泊料低廉、食事中奏樂す各室清潔にして美觀を極む

英國倫敦　アツパー、ノルウード街、クヰンス　ホテル

MANCHESTER HOTEL,
Aldersgate St., London, E. C.

弊館はオールダースゲート停車場に接近し且つ日英博覽會へ直行し得る場所にして日本紳士淑女に對し特に割引し約一日三圓五分と二圓の稀料食料附す

英國倫敦　マンチエスター　ホテル

THACKERAY HOTEL,
Great Russell St., London.

KINGSLEY HOTEL,
Hart Street, London.

サツカーレー　ホテル　　キングスリー　ホテル

弊店は禁酒旅館にして中央停車場へ三分間にて達する事を得宿泊料は至極御手輕に取扱可申候

SALISBURY HOTEL,
Salisbury Square, Fleet St., London.
電信宛名 "Salisbury Hotel, London.,,

快適なる談話室、應接室、圖書室其他旅客を慰藉する設備は全し
一日の宿泊料(食料其他一切)約五圓以上
當旅館より五分間にして劇場其他著名なる場所に達することを得

英國倫敦サリスベリー、スコーア、フリート街
サリスブリーホテル
電話三八一九番(セントラル)
電話七三二一番(シチー)

にきびをとる有効化粧液
チプリ
到る所に販賣し升
廿グラム入　二十五錢
東京本石町
松澤常吉

御扇子
愛國婦人會御用達
京都寺町五條下ル東側
御影堂
持阿彌

皇孫殿下
韓國皇太子殿下　賜台覽
文學博士上田萬年先生解説　名和永年畫

日本歷史画譚

全一册洋裝四六判
美本舶來紙刷
密畫二百枚挿入
正價六拾五錢
郵税八錢

天下第一の美しき**歷史畫本**出づ、上は天照太神の昔より下は伊藤博文公の暗殺に至るまで上下三千歲の著名の事蹟を、一々**美麗なる挿畫**を以て現はし、之に平易明快なる解説を加へたれば、讀んで面白く有益なばかりでなく、只一目見ただけでも、**其美しき面白さ**に、少年諸君は吃驚せらるゝであらう、學校の參考書としても、家庭に備へても、之程趣味深くして有益なるものは他にあるまい、**少年机上の珍寶、家庭團欒の材料**には必ず無くてはならぬもの、天下の少年諸君の愛覩を待つ。

◎三越兒童博覽會場に販賣致居候

文學士大町桂月先生校訂
ポケット日本外史
全一册　正價金四拾錢　郵税六錢

文學士久保天隨先生著
新體 實用書翰文
全一册　正價金五拾八錢　郵税拾錢

發賣元　東京神田區錦町二丁目角　振替口座二百六十番　勉強堂書店

東京市日本橋區通一丁目
合名會社 森村銀行
電話(特)本局六七三番
電話本局四九八番

定期預金　六ヶ月　年四分五厘
當座預金　百圓に付日歩　五厘
特別當座預金　同日歩　九厘

資本金八百萬圓
東京京橋區木挽町
株式會社 十五銀行
電話新橋(一三三〇番・一五三〇番・三一九三番)
同日本橋區新乘物町
同 日本橋支店
電話浪花(一九〇一番・三二七四番・三五〇八番)
一定期預金　六ヶ月以上年五分
一當座預金　日歩七厘以下
一特別當座預金　同　壹・錢

文部大臣認定
私立 和洋裁縫女學校
東京麴町區飯田町九段中坂上
(電話番町千九百七番)

和洋裁縫各科募集

本校教員養成科は文部省裁縫科檢定試驗を受る事を得
本科は毎四月許入學尙各科毎月募集

生徒募集
文部省各府縣受驗科和洋裁縫造花編物袋物ミシン使用法家政學各敎授法各科無試驗
要規則書は郵券貳錢
私立 日本技藝女學校
牛込區水道町三拾二番地

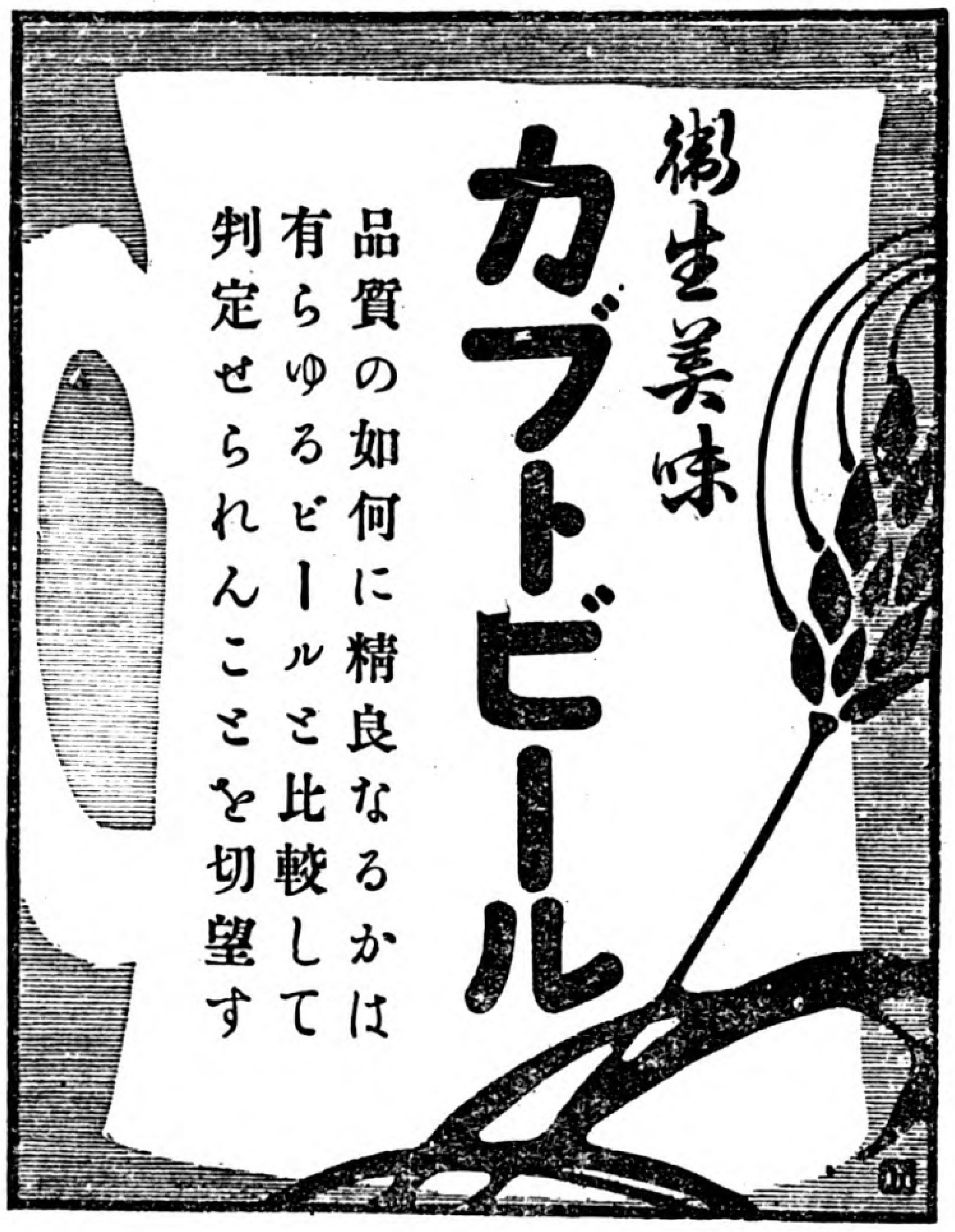
內外廣告取扱部
廣告用雜貨輸出入部
洋書輸入販賣部
和英飜譯印刷部
意匠考案部

本店　神戸市元居留地仲町三十八番館
出張店　東京市麴町區八重洲町一丁目一番地
支店　英國倫敦クレヴンハウス五十七番館
合名會社 東洋廣告取次會社
業務擔當社員
ドーグラス、エム、ヤング

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

祝愛國婦人二百號

東京瓦斯株式會社



タカヂアスターゼ

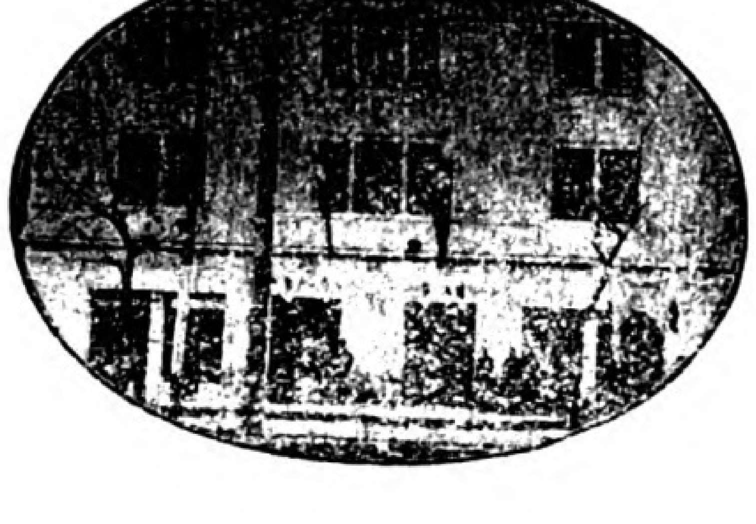
●不消化の徴候（醫學博士谷口長雄氏曰く『澱粉不消化に因する疾病の重なる徴候は胃の膨滿、疼痛、溜飮、腸内瓦斯蓄積、便秘若くは下痢等にして甚しく營養障害を來す是等の疾病に對しタカヂアスターゼの頗る有効なるを信す』と）

●高峰博士發見の製法に從ふタカヂアスターゼは毎瓶强度一定効力不變なり（是れ普通製法の幾多模造品と異る特長なり眞正なるタカヂアスターゼを得んには必ず高峰博士のタカヂアスターゼと指定せられよ粉末錠劑の二種あり各地に於ける信用ある藥舖にて取次販賣す）

●醫學大家の報告を收載せる『タカヂアスターゼ説明書』あり發賣元東京日本橋室町三丁目三共合資會社へ申込まるれば無代郵送す

發明館

特許品
意匠品
實用新案品
陳列販賣



觀覽無料
晝夜開館

京橋區銀座二丁目十番地
電話新橋三六五七番

一衣服地帶地
一金銀眞珠其他寶石細工品
一化粧用品
一男女洋服附屬品
一和洋傘類
一履物
一室内道具類
一臺所道具類
一文房具教育用品
一玩具
一機械類
右の外數百種

本館陳列品は一物一品皆なこの特色あり係りの者の説明御聽取の上御求め相成度候也

婦人雜誌界の霸王

婦人世界

五月一日發行　第五卷第五號　一冊十五錢

◎女學校を卒業して結婚する婦人に忠告す……大隈伯爵
◎日清戰爭の時衣服を賣つて駿馬を求めてくれた私の妻……比志島中將
◎乃木大將母堂の臨終に侍して感じた事……山口博士
◎私が外科手術を受けた時の實驗……村井弦齋

脚氣病の治療法發見さる……弦齋夫人

△脚氣は日本人の國民病なり今や效驗神の如き療法發見す詳細本誌▽
△米飯を常食とし味噌汁を食する家庭に直に實行し得べし詳細本號▽

◎子供は何ヶ月より副食物を始むべきか……加藤博士
◎侯爵菟去の時内親王殿下台臨の御模樣……佐佐木侯夫人
◎神風連に襲はれ姙娠六ヶ月の身で屋根より飛降りた時の話……與倉中佐夫人
◎婦人の芝居見物の利害……村井弦齋

郵税一錢五厘　半年分郵税共一圓五錢　一年分二圓五錢

東京京橋南紺屋町　郵便貯金口座參貳六番　賣捌全國書店

實業之日本社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

よいゆかた
いきめいせん
かすりろい
人形町通の
赤のれん
おばなや本店
電浪四三四五

季節向流行
はやりハ
神田赤のれんニ限ル
首巻ショールハ
アラスカ織ニ限ル
まつかぜ
本店東京神田區表神保町壹番地
電話本局二千八百五十三番
出店新橋博品館階上

はやり
おびあげ
えりどめ
めしおび
えり清

五月一日より
夏季新柄大陳列
●特製中形浴衣地
●新輸入洋服地類
●流行洋傘夏帽子
●よせ切見切反物
東京日本橋
白木屋呉服店

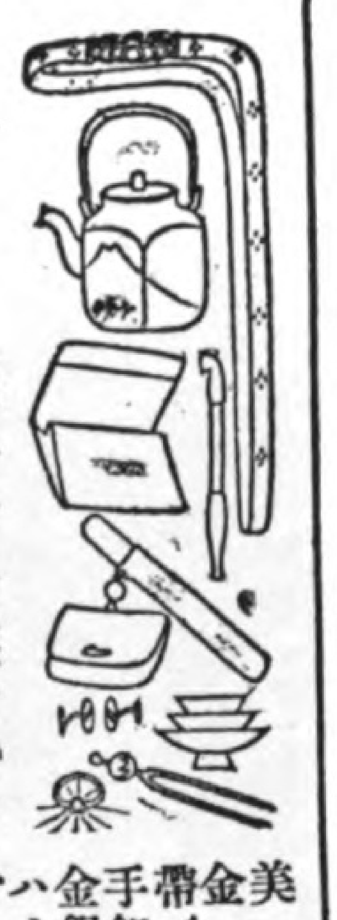
越後名物
風味ありのみ
優等品澤山着荷
定價
並等一個金五錢
上等同金八錢
優等同金十二錢
特等同金十五錢
外數種
進物用箱詰
三十個入金一圓二十錢
廿四個入金一圓四十錢
十八個入金一圓八十錢
市内は一圓以上御一報次第配達可仕候
梨果專門御小賣
牛込區山吹町十番地
二葉商店
(電車江戸川終點矢來交番の前)

夏
ねびへしらず
東京日本橋區堺町通ふきや町
電話浪花千二百七十番

登錄商標

元祖ねびへしらず(小兒用)
僞物あり御買ひ求めの節目印登錄商標に御注意願上候
直段
表中形裏ネル
一才用二十錢
二才用廿三錢
三四才用廿六錢
五六才用廿九錢
七八才用卅三錢
表メリンス裏同上
一才用三十七錢
二才用四十一錢
三四才用四十六錢
五六才用五十三錢
より四十二錢迄
地方は代金引替小包送料五個迄十七錢五個以上は送費當店持海外は實費頂戴可仕候
製造卸小賣
東京日本橋區ふきや町
(電浪二三四八)
佃屋商店

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



○ヒスイ
○ハイカラ
應用金屬裝身具
銀細工品
（何處迄も日本趣味を保持し目新らしきもの種々有之候）

美術袋物類
金屬煙管類
帶〆、指輪、簪、
手釦、胸針、襟止
金銀茶具盃類
ハイカラ銀器類

……袋物仕立並に金銀細工致候……

新橋際銀座通
佐竹商店
（電新千三十一）

五月一日より
夏衣大賣出し仕候
ゆかた地其他特別壹圓均一賣出し申候
よせきれ見切反物澤山取揃申置候
日本橋通四丁目
松
松屋呉服店
電話六〇八番　本局七一六番

貴婦人令嬢
の御氣に召す
優良にして眞正なる
巴里流行の最新形
被服類、下被類
髪飾品、化粧品
其他御婦人用品一切御入用の節は御來館を希ふ

LA VILLE DE PARIS

ラ、ビル、デ、パリー館
東京京橋區山下町十八番地
尚
神戸本店
神戸生田前三百九十番地
へも御用命を乞ふ

品か克くて、價の安きは本館の特色に御坐候

全國孰處にても葉書にて御報次第弊店員を以て紳士及貴婦人用品取揃へ持參爲致可申候條御引立の程伏て希上候

御文通は日本文、英語若は佛語孰にても御随意

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

賣り切れざる内本日直ちに購入あれ

婦女界

五月一日第三號 定價一冊 拾五錢 郵稅一錢五厘 一年十二冊郵稅共一圓七十五錢

◎東宮妃殿下の御修養 ◎三皇孫殿下の御學事
◎家政の巧拙は直ちに釐溜箱に現はる…田尻博士
▲廿二歳の時落生國難な山中に遁れて苦諫した私の娘時代
▲御殿女中から豆腐屋のかみさんとなりて共稼の成功 實驗
▲適當な嫁を得んが爲め再參死を決した私の經驗…喜悅孝子
▲女子將來の進路は文學と社會事業…女子大學校教頭 麻生正藏
◎空中飛行機に駕して二度まで英佛海峽を横斷せし感想
◎五十餘人の書生を養成した苦心 仁尾繁子
大附錄〔躑躅〕二頁大三色版 滿谷國四郎筆
◎婚約後三十二年 宮中奉仕の女官と結婚式を舉ぐる予の心事
◎容色の變つた爲め離縁された前後の悔恨…豐島せつ子
▲家庭の不和が原因で罪惡を犯し斷頭臺上の人となりしを不思議に助かつた私の實驗
▲時代の變遷に伴ふ日本室の裝飾 巖谷小波
▲女傑廣岡淺子刀自 ▲田園生活の幸福 横井博士
▲貴婦人の交際ぶり ▲衣裳の着こなし ▲髮の手當法
▲鐵道院の女子雇員 ▲應急手當
◎何時も腹に子が居るものと覺悟せよ…村上博士
◎桂總理大臣の家庭 ◎端午の節句の料理

發兌 東京神田表神保町 振替東京一三五番 同文館 電話本局特四三七 電話本局一五三九 賣捌各地書林

與謝野晶子女史著 ◎ 體裁優美瀟洒

女子のふみ

正價金四十五錢(郵送料金八錢)

閨秀作家與謝野晶子女史が候文、言文一致、雅俗折衷等の諸文體と穩健、優美、奇警、飄逸等各種の情調とを以て現代婦人界の必要に應じ實用と文學とを調和せる書翰文の一新例を示されたるもの、作例豐富、作法鄭寧、且つ冒頭には通俗なる假名遣辭典を以てせる至便の好著也。敢て世の淑女、學生、諸孃の座右に薦む

發行所 東京日本橋檜物町 振替東京二三〇番 弘學館
賣捌 東京日本橋 振替二三八 大倉書店 其他全國各地取次店

金銀盃類

貴金屬寶石美術品袋物一切何品によらず迅速と廉價を旨とし誠實に新調又は改作の御用相勤め可申候間何卒一層の御引立を以て多少に不拘御下命被下度願上候

宮內省御用達 玉寶堂 電話下谷(特九六五番 一二三四四番)

專賣特許名和式テンピ

嘗つて婦人世界誌上に於て弦齋夫人の料理談中其の効用を稱せられたる和用兼用テンピなり

大三圓 中二圓五十錢 小一圓九十錢

東京日本橋區蠣殼町二ノ十五 特許竈 據風呂 名和商店 電話浪花一一七七 振替口座一〇二五四

支店神田和泉橋通松永町十八

白毛赤毛染として製品の最も成功して居るは千代ぬれ羽白毛染であり升マア東西を通じて千代ぬれ羽に上を越す白髮染はないと申してもよいかと思はれますこう申した處で御存知でないお方はおわかりになりますまいけれ共一體白毛染なぞは安全に染められて染める時に手數なく能く染まるのがよいとしてありますそこで千代ぬれ羽をためしますと手輕に能く染り又誠に安全でそして世間有りふれたる白髮染と違ひ長く保ちまして自然の髮の毛と同じ樣に美しくなります

近面世間では隨分粗惡の白毛染を製造して外國製品とか何々學士の證明とか誇大の廣告をして販賣する向きも往々ありますが種々試しますのに千代ぬれ羽が一番よいと思ひますから白毛赤毛をお厭ひの方々は先づ御近所の小間物化粧品店或は藥店に就て東京 服部 松榮堂製千代ぬれ羽と申されてお買ひ求めをお勸め致します

東京市麴町區錢瓶町(常磐橋內)

日本興業銀行

電話本局 一、二八〇番 三、三〇〇番 二四番 (特)三一番 一〇七番

資本金壹千七百五拾萬圓

營業科目

一擔保附社債に關する信託業務
一有價證券其他貴重品等の保護預
一有價證券の賣買元利金の支拂及び取立
一地方債、社債、株式等の發行募集事務
一各種の信託事務
一國債證券、地方債證券、社債券、株券の擔保貸付及手形の割引
一國債證券、地方債證券、社債券の募集又は引受
一法律規定に依り設定したる財團を抵當とする貸付
一定期預金、特別當座預金

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

フランネルと縞セル地

流行新柄多數新荷着仕候

市内は電話又は葉書にて御申越被下度見本直ちに持參仕り御覧に入可申候
地方は二錢の郵便切手を添て御申越被下度見本直ちに御送附可仕候

東京市京橋區銀座二丁目十番地
毛織物商 **青山商店**
電話新橋八八〇
振替口座東一九三二八

衛生化粧

美髪法（けをうつくしくするはふ）

赤毛、白髪染、縮れ毛直し拔毛どめ、毛生法等あり

本書御入用の方は郵券二錢封入申込者に無代進呈

發行所 **深澤國華堂**

新緑影深く本誌の趣味更に津々

女學世界

五月一日發行 **第六號**

正價廿錢 郵税二錢 前金四冊八十錢

▼私の妙齢時代……井深花子
▼煩悶者の相談相手……綱島佳吉
▲女學生間の新流行……上原綾子
▼結婚後の修養……藤生貞子
▼呪はれたる寮舍生活……三條野純子
▼家庭教師の利益と其の弊害……高田清風
▼スヰートホーム……内藤千代子
▼箱根湖畔の家庭生活……石内富枝

◎得意◎裏庭◎
名家令嬢新夫人及名媛鑑……

雜記帳……晶子
枕草子……きよ

▼口繪▲
◎麓のはな
◎西洋草花

●腹立てまじき家憲
●米國婦人の觀察……
●韓人のお産を見る
▽新流行の爪磨術……
▽スヰートホーム……
●婦人の眼の保護……
●長命な老媼の生活
●世話女房日記……

東京本町 **博文館**

天賞堂春季大賣出し

四月十日より五月十日まで

御購求額五圓に對して壹等景品商品切手總額貳千五百圓（一口五圓宛五百口）

御購求額壹圓に對して壹等景品商品切手總額五百圓（一口壹圓宛五百口）

一本もカラクジなし貳等以下景品割合の詳細は四月九日時事新報所載本堂廣告參照あれ

一本もカラクジなし貳等以下景品割合の詳細は四月九日時事新報所載本堂廣告參照あれ

横濱 神田 **本店** 名古屋 福岡

新潟縣下購讀者へ至急廣告

愛國婦人は二月廿日刊行第百九十四號より當支部に於て配達致事と相成候に付同號以後の代金は當支部又は所在地幹事部へ御支拂ひ相成度此段愛讀者各位へ稟告す

明治四十三年五月

愛國婦人會新潟支部

婦人畫報

五月一日發行 **五月卷廿五** 一冊

錢 郵税共一冊二十五錢 六冊一圓四十錢 十二冊二圓八十錢（郵税共）

（畫報）

附録 初夏花 彩色美人畫 石川寅治筆
御新婚の兩殿下
御進級の四姫宮殿下と御成績
院宮の二姫宮御成績
名家令孃の茶の湯
各女學校優等生と成績物……
女學生の元祿踊り

▼婦人矯風會の慈善園遊會……
▼緒方博士祝賀會と夫人令孃
▼公園の晩春と美くしき人……
▼水清き多摩川べりと女學生
▼五月幟と珍らしき柏もち……
▼學習院女子大學……
▼跡見三輪田……
▼山脇成女美術……
▼女學館音樂其他……
▼共立麹町高女
▼實踐渡邊其他……
▼流行の動物劇と罩軌鐵道……
▼煙草工場の女工
▼結納物のいろ〳〵
如花卒業生
展覽會とバザー
▼令孃奥樣おねり

（讀物）

女子と文藝……坪内雄藏
美貌を主とせる權勢結婚……井上哲次郎
婦人と英傑の士……井上友一
無名の婦人……中島徳藏
なくもがな……横山榮次
京都と東京の女……幸田露伴
千家男爵夫人を訪ふ

◎通譯の苦心……保田登代
◎大岡越前守と現代の家庭……宮川すみ子
◎女學生と臺所……
◎島津惟久の夫人……遠山稻子
◎英人の見る支那夫人と家庭
◎夫ある若き女教師のうち淋しき一日
◎筍料理の色々◎五大將夫人
◎東京名物喰べ物のいろ〳〵
◎ゆきし我が美しき教へ子
◎女の手にて製造さる、煙草
◎出入商人の妻が見たる奥樣

增刊
東京遊覽畫報

再版
定價三十二錢 郵税二錢

寫眞百冊 記事豐富 寫眞領收家庭裝 飾物に適し 東京案内のし 羅針盤たり

四月十五日發行

東京飯田町四ノ四
東京社
電話番町二三三九 振替一一八一八

倫敦の某婦人は、日本の令孃淑女へ美顏術の秘密を敎ゆ。萬國聯合端書へ左の英語の宛名を貼附け申込次第。美貌の保護者。と題する書を無料送る

(YIASIBERIA) MADAME CROSS.
184—186 REGENT ST.,
LONDON. W. ENGLAND.

のみよけねまき

◉のみ、南京虫等の害虫を完全に防ぐ◉體裁優美着心能く洋服下着に最も適當す◉着脱自由にして旅行用に最も適す◉大小便共自由に便じ得るを以て御婦人方にも宜し◉寢冷等の患なし◉幾度洗濯するも差間なし

代價	尺	白キヤラコ	白綿ネール
壹號着丈	二	金八十五錢	金壹圓卅錢
貳號着丈	二尺三寸	金壹圓十錢	金壹圓五十錢
參號着丈	二尺七寸	金壹圓卅錢	金壹圓九十錢
四號着丈	三尺參寸	金壹圓五十錢	金貳圓十錢
四號半着丈	三尺五寸	金壹圓七十錢	金貳圓卅錢
五號着丈	三尺八寸	金壹圓九十錢	金貳圓五十錢

御注文の節は御一報次第代金引替小包にて御送申候

東京市京橋區元數寄屋町二丁目二番地
フタバ商會
電新二七二七、四三六九番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人廣告取扱
神田三河町一ノ一九 博報社
京橋宗十郎町一七 正路喜社
日本橋蛎殼町三ノ一一 大興社
京橋區南紺屋町一 一星社
神田須田町廿七 金蘭社
京橋區 廣告社
下谷區御徒町一ノ三九 三松堂

洋傘の時季は來れり

流行の魁と體裁の高雅なる而かも價の廉なるは夙に御高評を博しをり申候

本年は殊の外意匠を凝らせる斬新の品々澤山取揃へ陳列致居候間御序手の節緩々御遊覽被成下度奉願上候

東京神田區小川町九番地
電話本局四八九番
振替口座一五〇〇〇
甲斐絹屋洋傘店

【注意】近來類似品を販賣する者あれば御買求の節は右瓶の形狀及び一頭の麝香獸に御注意を乞ふ市內賣藥小間物化粧品店に於て販賣致し居り候

芳香の永く保つ點にて高評也

麝香獸印
ムスク香水
大瓶 壹圓
中瓶 六十五錢
小瓶 二十五錢

東京日本橋本石町四
松澤常吉

皆様
今日もまた丈夫で元氣で心から愉快に「暮す様」
「ゼム」を今すぐ召上れ

消化と毒けし
ゼム
懐中良薬
口中香錠
▼全國各藥店にあり

日本三大化粧として天下萬衆の賞讃を受けつゝあり
洗粉
白粉
歯磨

江羽織紐
帯締
其外組糸一式
東京日本橋
結竹組糸舗
長電話 振替貯金

胃病良薬 太田胃散

最上醤油
品質優等ニシテ調理ニ適ス
發賣元 日本橋區小網町三丁目廿七番地 濱口吉右衛門
醸造元 千葉縣銚子町 濱口吉兵衛

宮內省御用達
最上醤油之元祖
ヤマサ
開業貳百六拾六年
醸造元 下總銚子町 濱口合名會社
振替貯金口座五〇貳壹番

明治四十三年五月五日發行(毎月五日廿日二回)(定價金三錢五厘 一ヶ月七錢郵税不要)廣告料一行金六拾錢
編輯人 竹內貞三
發行兼印刷人 山澤俊夫
發行所 東京麹町區飯田町 愛國婦人發行所
印刷所 東京本所區番場町 大阪印刷株式會社

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

附錄 愛國婦人會記事

本部記事

▲第九回總會彙報　第九回總會は來る九日に決定し同日午前九時半より日比谷公園に於て開會の筈なるが、當日は皇后陛下の御台臨を仰ぐ由なれば定めて來會者も多かるべし。詳細は次號にて報導せん

▲但し拜觀所は例年の如く左の三ヶ所の豫定なり。

一、濱離宮、一、新宿御苑、一、後樂園

▲參列者の汽車汽船賃金は例年通り割引を爲す。

▲第六號潜航水雷艇沈沒に對する吊慰　去月十五日廣島灣中に起りたる同水雷艇沈沒に付き二十日午前呉鎮守府司令長官加藤中將宛左の吊電を發したり。

佐久間大尉殿以下乘組員各位の遭難に殉死せられしを悼み恭しく吊詞を呈す

右の吊電に對し早速呉鎮守府長官代理より謝電ありたり。

尚又、更らに書狀と共に同長官宛吊慰の爲め金七十圓を贈呈し同艇乘組各位遺族の方へ然る可く配附あらん事を依頼したり。

▲有功章贈與

福岡支部

桂ミツ子　貝島クラ子　小林ノブ子　中村トウ子　八田友次郎　浦野ヨシ子　木村ヒサ子　有吉キヨ子　木原モト子　古賀ヨネ子　木本ヒサノ子　魚落チサト子　久保田カツヨ子　高山キヨ子　野口ハツセ子　河北縫子　坂田ヒサヨ子　宮川チモト子　谷キヨ子　牧田芽江子　松尾サダ子　松田ツイ子

原口サキ子　上野ヒサ子　内田タネ子　龍田マツ子　山口マキ子　重岡タカ子　川崎ツル子　菊地タマヨ子　樋口キノ子　仲サカノ子　城崎マサノ子　鳥越久子　松田初枝子　森田マサ子　原スエノ子　梅野ヨシ子　坂田タケ子　杉森シカ子　永江キサ子　野口ツマ子　藤井キサ子　高野ヤス子

土方キク子　飛東トモ子　三輪ヨネ子　井久保フデ子　白木ミツ子　安廣布天子　久野タツヨ子　下川タツ子　木下スエキ子　大津アサ子　黒木フクノ子　諏訪トモエ子　中島ミツ子　吉村アイ子　吉村ミチエ子　沖タネ子　田中シカ子　沖乃キノ子　加來レイ子　森シモ子　濱家ツヤ子　時崎リツノ子

吉村イキ子　宮城律子　熊谷カルエ子　井上操子　藤井ケイ子　古賀ユク子　中野サダ子　吉田タマチ子　的場ソノ子　平岡榮子　瀧カチル子

尾家クメ子　長谷川久子　加來ハヤ子　金光八重子　横山イソ子　野見山タリ子　伊藤ハル子　眞武トモ子　永島ツネ子　熊谷トミ子

日高カツ子　柳武キヌ子　山上ミツ子　和田友子　麻生ヨネ子　青木下枝子　芳村ヤス子　松本サキ子　服部ヤス子　高山カネ子

右各金五十圓寄附に依り三等有功章贈與

福岡支部　岩崎ツル子

右金三十五圓寄附に依り特別謝狀に女鑑一冊を贈與す

福岡支部

貝島ケイ子　同シゲノ子　同イソノ子　三郎丸靜子　自念キク子　日高エン子　山本マサキ子

同ハナ子　同フシ子　同トモ子　日高タケノ子　伊藤サイ子　山口ハナイ子

同ヒロ子　同フワノ子　同タケ子　吉岡チヨ子　加藤ヨネ子　島中トヨ子

右各金五十圓寄附に依り三等有功章贈與

(以上四月十八日)

岐阜支部

岐阜支部に於ては豫め會務に關する打合事項を協定したる後二月二十六日午前十時より打合せ會を開き同四時閉會したるか。當日は岡部主事を座長に推し、岩田(岐阜市)丹羽(稲葉)杉山(羽島)山中(養老)大須賀(不破)八田(安八)岡田(本巣)木村(山縣)總山(武儀)二宮(郡上)栗山(加茂)堀田(可兒)大野(惠那)等の各幹事部事務員出席し大略左の如く議定したり。

(一)軍人遺族並廢兵現況調査書中生活程度を再調して救護の公平を期する事項に就ては支部希望の通り各幹事部に於ては七月三十一日迄に遲滯なく丙丁と認むるものへ、生活程度を再調して其の結果を支部へ報告し支部は可成早く救護金を幹事部へ送付する事。

(二)救護金の交付は可成鄭重なる手段方法を執られたき事。この件に就ては可成幹事委員並附近在住の會員等を立會はしめ授與の式を擧げ又は差支なき限り父兄懇談會等公會の席を利用して授與する等其の地方の狀況に依り適宜鄭重なる方法に依る事に決定す。

(三)會員異動報告に關する事項。本項に就ては幹事部間の轉出入に對し各幹事部間に於て照復を重ぬるは從來に比し通信費を增すとの異議ありたるも當分此の式に依實行する事に決定す。

(四)會費送納期を三期に定たる事。每年一月、五月、九月の三期に於て其の月五日までとするときは一月の如きは實際執務上に差支あるが故に結局其の月五日とあるを其の月十日と改め決定。

(五)滯納會費は本年十月三十日を期し之が整理を爲す事。各幹事部にて整理を爲す事に決定、支部は參考の爲め時々滯納會費取調表を各幹事部へ示す事を約せり

(六)會費送金計算書樣式改正に關する件本項に就ては會費仕譯書式のみ左の如く改め(但し樣式略す)其他異議なく決定。

(七)幹事部並理事部職員囑託解囑に關する件。幹事委員理事は赤十字社の例に倣ひ豫め幹事部へ用紙を交付し置き直に囑託し得ることとし其の旨支部へ報告することに決定、且是迄解囑書を發せしも爾今挨拶狀に變更する事に決せり。

(八)右各項の外入會の際交付せる協約狀は退會の際返納せしむる例なるも退會の際紛失せる向多し故に赤十字社に於ける締盟狀は假令退社するも記念の爲め本人に於て保存し返納せしめざる例に倣ひ改正せられたしとの希望あり依て次期本部の協議會へ意見書を提出する事を約せり

(九)又救護金に對する各本人の受領證は十二月中に支部より本部へ送付する規定なれども幹事部に於て好機を見計ひ救護金を授與するとせば從て本人の受領證提出は自然遲延するが故に自今本部は幹事部の受領證に止められ本人の受領證は支部に保管することに改められたしとの希望あり前項同樣本部へ意見書を提出することに約せり。

岩手支部

明治四十二年度事務概況

▲狀況一般　前年度設定したる計畫に基き鋭意會務の發展を期し事務の整理會費の徵收會員の增募に努め各幹事部長をして專心之れが成功に盡瘁せしめたり又五月廿八日郡市長會議の砌幹事部顧問と別室に於て協議を遂げ會務進捗上に種々の障害ありたるに關せず稍好成績を收むる事を得たり。

▲新募會員數　四百九十三人内特別二十二人通常四百七十一人なり。

▲會計　本年度に於ける收入金七千四百四十七圓九十三錢四厘支出金一千九百六十九圓八十九錢九厘にして、翌年度へ越高五千四百七十八圓十二錢五厘とす。

▲職員會　一月十六日主事送別會、五月九日稗貫郡幹事會。

▲救護　本會よりの救護金千四百一圓之れに支部支出金八百四十五圓を加へ合計二千二百四十六圓を丁に屬するもの百三十五人丙に屬するもの二百二十四人合計三百五十九人に對し十圓と四圓の割にて分ち贈與したり。

▲遺族慰問　五月十七日盛岡市に於て興行中の日本チャリネー技術奬勵會に交涉して市内在住軍人遺族及廢兵の爲めに別席を設けて無料觀覽をなさしめ支部主事以下職員及盛岡市幹事部職員斡旋の勞を執り一同を優待し且つ菓子袋を配付す。

▲軍隊慰問　七月一日より九日間當地新設騎兵第三旅團轉入に付毎日到着時刻に笠井支部長始め各職員一般會員等盛岡停車場に於て歡迎し又同月十八日縣社八幡宮境内に於て同旅團歡迎會あり終りて南部邸内に於て將校招待の園遊會開催笠井支部長以下職員參會して其間に斡旋したり。

▲戰役行賞　三十七八年戰役の際盡力せしに付き賞勳局より銀杯一個を賜はる。

▲閑院宮殿下奉送迎　五月三日及五日の兩日閑院宮殿下盛岡驛御通過に付き支部長以下各職員プラットホームに於て奉送迎をなしたり。又韓國皇太子八月四日盛岡市御着、翌日御發程に付き支部長支部副長評議員等はプラットホームに一般會員は縣廳前に於て奉送迎をなす。

▲有功章其他贈與　功勞に依り本年中に贈與したるもの左の如し。

二等有功章、一人　三等有功章、(三人)

扇子婦女鑑、八人　木杯、(二人)

扇子、(九人)　謝狀、(十六人)

岡山支部

明治四十二年度事務成績

▲佩有功章者　本年中授與せられたるもの十四名、現在佩用者百五十六名なり。

▲會員の狀況　本年度入會者は特別十四名、通常五百七十二名、轉入特別十四名、通常九十二名合計六百九十二名退會者は特別四名、通常百五十二名、轉出特別二十五名、通常百二十六名合計三百七名、其他死亡者百九十一名にして現在會員は特別千百三十一名、通常二萬三千三百六十三名合計二萬四千四百九十四名、外に贊成員十三名あり。

▲會費　本年中會費の醵集金額は一萬千四百五十六圓四十錢なり。

▲基本金　本年中の收入千百四十五圓六十四錢、之れに前年度よりの越高六千七百九十圓二十六錢、救護資金の剩餘より五千圓、債券利子二百九十七圓五十錢を組入現在高一萬三千二百三十三圓四十錢

▲救護金　本年度の收入二千二百九十一圓二十八錢にして本部よりの受入高二千二百二十二圓前年よりの越高一萬五千九百五圓六十七錢五厘合計二萬四百十八圓九十五錢五厘內五千圓を基本金に組替三千六百三十八圓を救護に支出し現在高一萬千七百八十圓九十五錢五厘なり。

▲支部經費　本年度收入四千八百六十三圓四十錢にして前年度より越高四千九百二十六圓五十錢五厘合計九千七百八十九

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

圓九十錢五厘の内支部及幹事部經費並會員募集費等を合して三千四百五十四圓を支出し現在高六千三百三十五圓九十錢五厘なり。

▲救護　支出高三千六百三十八圓贈與戸數二百八十七戸にして内金三千百十二圓（生活費）此人員二百五十六人金五百十四圓（學資）七十九人金十二圓臨時一人なり贈與戸數に對し救護人員の多數なるは一家に二名以上の學資を給すると生活費と學資金とを併せ給するあるに由る。

▲規則制定　一月十八日支部幹事部會計監督及檢査に就き十六ケ條の規則を制定す。

▲總會　三月廿八日　郡幹事部第五回總會を開催。

▲遺族慰問　五月六日招魂祭に當り遺族參拜者を接待し又支部員等の幹事部に出張の折は被救護者の現況視察を兼其居所に就き訪問慰藉せり。

▲出張　第八回總會參列の爲め支部長主事會計監督幹事部長同顧問幹事各一名上京又主事相談役幹事會計監督及事務員幹事部出張會務を視察せり。

▲職員異動　幹事部長一名同顧問一名幹事二十四名を囑託し幹事部長一名同顧問一名幹事二十七名を解囑し又幹事四名死亡せり。

▲吊詞　臺灣生蕃討伐中の戰死者一名及幹事四名の死亡者に對し吊詞を送れり。

秋田支部

明治四十二年度事務成績

▲會員募集及醵金整理　當支部會員の歩合は女子人口百人に付三人三歩の割合に當り第二次擴張計畫の規準歩合に達せざること僅に七歩なるを以て之を充すと同時に年々増加する未納金を整理せんと欲し先以て年醵金の徴收に便利なるやう徴收期を改正し幹事部長に對しては殆んど隔月位に督促を加へ又幹事部顧問會合の都度懇篤に協議を遂げたる事屢々なりしも種々の事項により尠からざる障害を受け爲めに充分なる效果を擧ぐる能はざりしは頗る遺憾とする處なり就ては四十四年春季に於て當支部第二回總會開催の計畫を立て之れを動機として會員增募及未納金整理をなし且つ本年は臨時雇員を增置し事務員と共に各方面に派遣し專ら會務擴張と醵金整理とを圖り居れり。

▲軍人遺族廢兵の救護　本會より配當の定期救護金千四百四十六圓之れに前年度繰越金三千九百十二圓六十五錢本年度收入二千二百二十二圓十三錢を加へ合計金七千八十圓七十八錢の内より丙丁に該當するもの二百九人に對し六圓、十二圓、十八圓の三等に區分し支部附近の幹事部には支部長評議員臨場して懇に本人に交付し其他幹事部に於ても同樣幹事部長をして交付せしめたり其總金額二千六百九圓なり。

又支部設定の救護方法に依り戰病死者及廢兵の子女弟妹十八人に對し學用品を給與したり此金額七十二圓二十八錢なり其他當支部に於ては昨年中本部の承認を經、生業扶助の目的を以て施設經營したる事業は仙北郡角館町木通臺細工傳習所及雄勝郡湯澤町同傳習所の二ケ所にて角館町には二百五十圓湯澤町には三百圓合計五百五十圓を補助し尚此外帝國軍人援護會配當金より支部同樣の補助を受け合計金千百圓を以て傳習生四十六名を遺族廢兵中より撰拔して修業せしめたり又北秋田幹事部より現金救護に代へ田所式製繩器一臺宛を被救護者の遺族廢兵中四人に贈與したき旨申し越ありしを以て該器械を調査したるに適當と認め此四人には將來の定期救護を停止し器械を購入贈與せり。

▲遺族廢兵慰藉　五月當支部評議員高草木鉦子支部長代理として職員會員同行本會總會に參列したるを機とし廢兵院を慰問せしめ煙草菓子（代十五圓）を贈與し親しく入院の廢兵を慰藉せしめたり。

又仙北郡幹事部にては五月廿八日、由利郡幹事部は八月十七日、南秋田郡幹事部は十一月六日各幹事部第一回總會を開催し遺族廢兵を招待して夫々金品を贈與して慰藉に努めたり其の人員は仙北郡に於て百三十二人、由利郡に於て八十一人南秋田郡に於て百五十八人金額合計三百七十一圓とす。

▲有功章及賞狀賞杯の授與　昨年中授與せられたるもの左の如し。

功勞に依るもの、特別徽章一人、二等有功章二人、三等有功章二人、

寄附に依るもの一等有功章二人、二等有功章九人、三等有功章四十人、其他謝狀及扇子婦人鑑授與一人（本部行賞）謝狀及野杯二人、謝狀及木杯一人、謝狀及服紗五十八人（以上支部行賞）とす。

又支部獎勵規程に依り由利郡金浦町委員區總會當時金九圓を補助したり。

▲會計

一、基本金　本年度の收入一千百十一圓六錢五厘寄附金四十圓前年よりの越高六千百五十七圓四十七錢九厘合計現在高六千百五十七圓四十七錢九厘なり。

一、別途積立金　總會準備金として金千圓を積立たり。

一、救護金　四十二年度繰越金三千九百十二圓六十五錢と會費歩合及本部配當を合せ救護費金七千五百八十圓七十八錢なりしを以て專ら意を救護事業に用ゐ授產事業定期救護其他に使用したる事別項の如くたるが尚三千九百五十三圓五十錢を翌年度に繰越せり。

一、經費　總收入五千五百十九圓五錢二厘中四千八百四十五圓七十二錢一厘を使用し差引殘金六百七十三圓三十三錢一厘を翌年度に繰越す。

▲收發件數　收受千十九件發送九百二十三件なり。

鳥取支部

▲會費の整理　各幹事部は去る二月より明治四十二年度以前に係る未納會費金九千四百餘圓の整理に着手し氣高郡幹事部は三月十日迄に完結し其他各幹事部は四月末日迄に完了を期せんとし專ら盡力中にて其狀況良好なり。

▲井上圓了博士の講話　愛國婦人會鳥取支部、鳥取將校婦人會、鳥取婦人會、鳥取婦人報德社、篤志看護婦人會鳥取支會の五團體合同し目下山陰地方巡回中の文學博士井上圓了師を招聘し一般婦人の聽講を許し去月十二日縣立高等女學校講堂に於て講演會を開催せり當日朝來天候險惡なるにも拘はらず參會者は百餘名に達し矢島師範學校長の紹介により博士は日本道德と西洋道德との異同、及公德養成法の二題下に講演せられ大に婦人社會に稗益を與へられたり。

德島支部

▲幹事部總會　河沼郡幹事部にては去月九日坂下町小學校内にて第一回總會を開催、石部幹事部長の開會の辭に次ぎ結城事務員の事務報告あり石橋副部長は支部長の祝詞を代讀し其他委員總代會員總代等の祝詞ありたる後支部長代理より左の功勞者に有功章及賞品を授與し閉會せり。

二等有功章　和田春江子
三等有功章　石部八重子
同　鈴木かつ子
同　鈴木きい子

右の外支部長より徽章入縮緬帛紗を贈與せられたるは、

高久むめ子　齋藤ふさ子　齋藤とら子
酒井よれ子　月本ちよ子　小川しん子
菊地わくり子　小島はる子　堀田つな子

の諸氏にして此外硯箱を贈與せられたるもの九人、本會より木杯を贈與せられたるもの七人、同謝狀廿一人、支部長謝狀五人あり、因に當郡は今回新に三百名の新入會者ありて合計會員六百七十二名となり當日亦來會者五百餘名あり非常の盛會なりき。

兵庫支部

日本赤十字社總裁閑院宮殿下並に本會總裁同宮妃殿下四月十六日午前七時十七分神戸驛御着車同二十五分御發車西下あらせられたるに付き同驛に於て知事代理不破事務官田丸裁判所長其他各高等官及服部愛國婦人會兵庫支部長並に支部副長以下各職員等多數奉迎をなしたり。因に當日赤十字社兵庫支部よりは灘銘酒を本支部よりは果物を献上したり。

茨城支部

茨城支部猿島幹事部古河委員部は四月十三日古河町尋常高等小學校に於て第二回會員總會を開催せしが前日晝夜の雨天なりしに關せず約百餘名の出席者あり支部よりは幹事池田豐子酒泉たき子主事榊尚明の諸氏臨場し盛況なりき。因に當日は本部より擴張員八田一精氏臨席し會務に關する講話を爲したり。餘興として德弘太無の一弦琴彈奏あり。

富山支部

四月十三日中新川郡大森村分區に於て同日午前一時より第一回會員總會並名譽銀盃披露式を擧行せしが支部より永井支部副長中村事務員臨場。分區幹事の開會の辭、支部副長の祝辭に引續き軍人遺族並廢兵者に臨時救護金の贈與を爲し甘粕幹事部長の會員將來の心得に對する講話あり紀念品を授與して會を終り後草野支部事務員の演説ありて散會せり。

▲正誤　前號附錄一頁東京支部記事中錦織梅子氏金五拾圓寄附とあるは金十五圓寄附の誤植に就き訂正す

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

明治四十三年五月五日發行（每月五日二十日二回）
明治三十五年三月廿七日第三種郵便物認可

總裁閑院宮妃殿下
會長子爵夫人岡部坻子
副會長伯爵夫人阿部篤子

臺灣支部長大島富子
兵庫支部長服部鈴子
山梨支部長熊合よし子
愛媛支部長伊澤德子
佐賀支部長西村まさ子

北海道支部長河島眞久子
千葉支部長有吉久子
岐阜支部長薄ふみ子
山口支部長渡邊留以子
熊本支部長川路水尾子

東京支部長阿部龍子
山形支部長馬淵よし子
香川支部長小野田安子
鳥取支部長告森多賀子

京都支部長大森齡子
三重支部長有田滿壽子
島根支部長丸山たけ子
德島支部長渡邊操子
鹿兒島支部長坂本悆子

大阪支部長高崎榮子
靜岡支部長李家貞實子
石川支部長村上須磨子
廣島支部副長男爵夫人上田種子
函館支部長手塚トマ子

發行兼印刷人　山澤俊夫　編輯人　竹内貞三　發行所　麹町區牛ヶ淵愛國婦人會發行
印刷所　東京市本所區番場町四番地　凸版印刷株式會社分工場

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN